

平成 27 年 度 第 3 回公民館運営審議会

会議資料

日時：平成 28 年 2 月 12 日（金） 10：00～

場所：龍田公民館 ホール

[次 第]

- 1 開 会
- 2 市民局次長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 平成 27 年度重点事業の実施状況及び
平成 28 年度事業計画概要（案）について
- 4 報 告
 - (1) 公民館のあり方に関する基本的考え方（案）について
・先進地視察報告
- 5 閉会

熊本市教育委員会

目 次

	ページ
熊本市公民館運営審議会委員名簿	1
熊本市公民館運営審議会関係各課（かい）職員名簿	2
熊本市公民館関係組織図	3
1 平成27年度重点事業の実施状況について	4
重点事業項目（1）アクションプランの充実	5
別紙資料Ⅰ	9
別紙資料Ⅱ	19
別紙資料Ⅲ	21
別紙資料Ⅳ	22
重点事業項目（2）家庭教育支援の充実	23
資料①平成27年度熊本市家庭教育学級 学習内容一覧	28
重点事業項目（3）区のまちづくりを活かした公民館事業のあり方	38
2 平成28年度 事業計画概要（案）について	
（1）平成28年度重点事業項目	50
（2）平成28年度事業項目	51
別冊資料 「平成27年度 よかった講座報告集」、「参考資料（関係法令 他）」 「公民館のあり方検討に係る先進地視察（報告）」	

熊本市公民館運営審議会委員

(敬称略 順不同)

区分	氏 名	所属団体・役職等	備考
学識経験者	河 村 洋 子	熊本大学 政策創造研究教育センター准教授	
学識経験者	山 西 裕 美	熊本学園大学 社会福祉学部准教授	
学識経験者	山 城 千 秋	熊本大学 教育学部准教授	
学校教育	中 川 一 徳	熊本市中学校長会会長 湖東中学校校長	
学校教育	山 下 英 一	熊本市小学校長会会長 壺川小学校校長	
学校教育	池 辺 京 子	熊本市立幼稚園会会長 一新幼稚園園長	
社会教育	加 藤 貴 司	熊本市地域公民館連絡協議会副会長	
社会教育	陣 内 巧	熊本市青少年健全育成連絡協議会副会長	
家庭教育	横 田 友 子	家庭教育学級 (泉ヶ丘小学校・湖東中学校)	
社会教育 家庭教育	青 木 良 子	熊本市PTA協議会常任理事	
社会教育 家庭教育	山 田 はる美	熊本市子ども会育成協議会理事	
社会教育 家庭教育	坂 本 和 子	熊本市民生委員児童委員協議会監事	
社会教育 家庭教育	山 口 温 代	熊本市ボランティア連絡協議会副会長	
市民公募	山 田 裕 一	市民公募	
市民公募	竹 下 繭 子	市民公募	

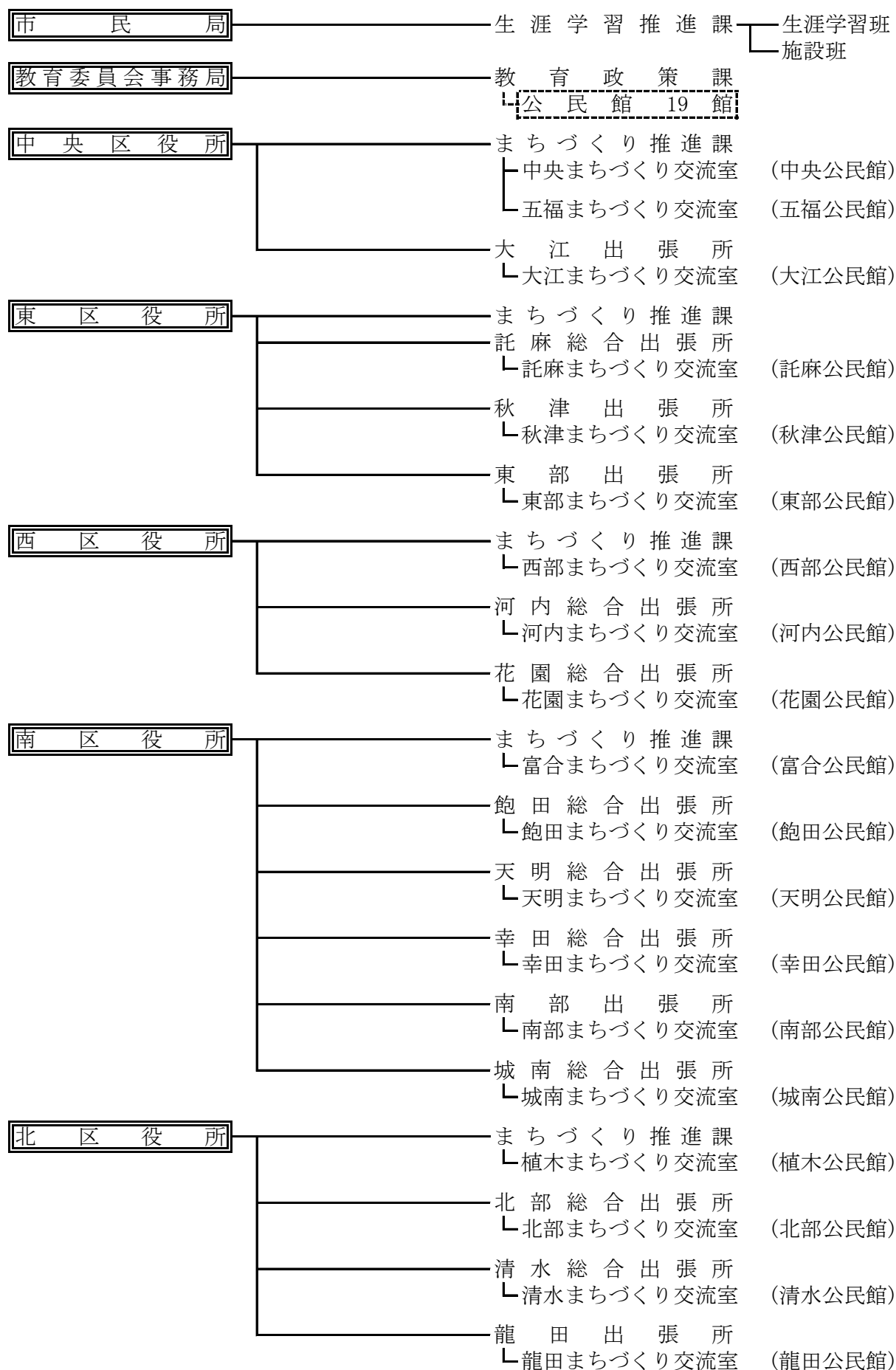
任期：平成27年6月1日から平成29年5月31日

熊本市公民館運営審議会関係各課（かい）職員名簿

（平成27年4月1日現在）

氏 名	役 職
田 中 俊 実	市民局 次長
河 野 宏 始	市民局 生涯学習推進課長
廣 瀬 謙 一	中央公民館長（中央区 中央まちづくり交流室長）
高 山 健 次	五福公民館長（中央区 五福まちづくり交流室長）
岡 崎 幹 生	大江公民館長（中央区 大江まちづくり交流室長）
田 中 紀 宏	託麻公民館長（東区 託麻まちづくり交流室長）
村 田 忠 久	秋津公民館長（東区 秋津まちづくり交流室長）
村 上 三 代 治	東部公民館長（東区 東部まちづくり交流室長）
澤 見 茂	西部公民館長（西区 西部まちづくり交流室長）
北 野 洋 治	河内公民館長（西区 河内まちづくり交流室長）
米 澤 誠 司	花園公民館長（西区 花園まちづくり交流室長）
福 原 壽 信	富合公民館長（南区 富合まちづくり交流室長）
小 山 剛 正	飽田公民館長（南区 飽田まちづくり交流室長）
鶴 田 二 三 四	天明公民館長（南区 天明まちづくり交流室長）
高 本 昭 宏	幸田公民館長（南区 幸田まちづくり交流室長）
中 村 忠 幸	南部公民館長（南区 南部まちづくり交流室長）
松 野 博	城南公民館長（南区 城南まちづくり交流室長）
古 田 誠 二	植木公民館長（北区 植木まちづくり交流室長）
福 島 崇 文	北部公民館長（北区 北部まちづくり交流室長）
西 田 英 二	清水公民館長（北区 清水まちづくり交流室長）
早 崎 高 史	龍田公民館長（北区 龍田まちづくり交流室長）

熊本市公民館関係組織図



1 平成27年度重点事業の実施状況について

成果(○)・課題(●)と今後の方向性(◇)

(1) アクションプランの充実

- 男性向けに52講座を実施。男性料理教室や歴史講座は人気が高い。初めて公民館講座を受講した男性の割合は、前年度比6ポイント増加した。
- 子育て世代向けに69講座を実施。ベビー&マミーボックスや土曜日実施のオリーブ石鹸作りは応募者多数。新規参加者の割合は、前年度比2ポイント増加した。
- 今年度も「よかった講座」報告集の作成に取り組み、各館で情報共有が図れた。
- 初めて公民館講座を受講した30代の参加者に比べ、40代が少なかった。
- ◇ 男性向け・子育て世代向け講座について、内容を精査したり、シリーズ化したりして、さらなる公民館利用者の拡大を目指す。

(2) 家庭教育支援の充実

- 家庭教育学級数は、前年度比 2増(富合小・富合中) 2減であった。
- 家庭教育学級生のニーズや子育てに関する課題等を取り入れ、内容の充実を図ることができた。
- 学校と連携し、子育て講演会やくまもと「親の学び」プログラムを開催することができた。
- 民生委員や子育てサークルと連携協力して実施できた公民館は3館であった。
- ◇ 家庭教育学級のさらなる内容の充実と地域人材活用、家庭教育支援者養成及び諸団体との連携について重点化を図る。

(3) 区のまちづくりを活かした公民館事業のあり方

- 区の各課や地域の諸団体等と事前にしっかり話をしながら、連携した公民館事業の取組ができた。
- 各イベントとも多数の参加者があった。
- 参加年齢にあわせたイベントや講座内容の工夫。
- 参加人数に見合う、施設や駐車場等の確保。
- 各区のイベントや公民館事業に一度も参加したことがない人への広報の工夫。
- ◇ 各区で行われているイベントを精選して統合するなど、より広くいろいろな世代の人たちが集えるような企画を検討する。

重点事業項目（１）アクションプランの充実

- ✦ アクションプランの実施に向けた実態把握
 - ✦ アクションプランの設定と実施
 - ✦ アクションプランの検証・分析
 - ✦ 成果と今後の課題
 - ✦ 来年度の方向性
- ※ 別紙資料Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ



平成28年2月12日（金）

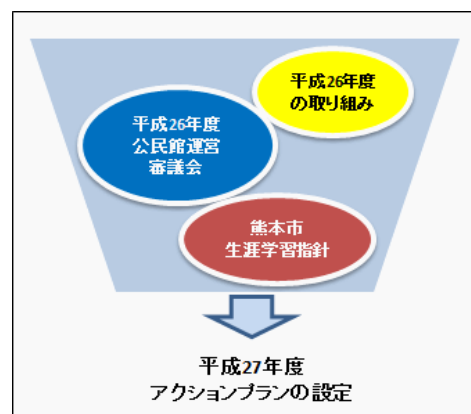
アクションプランの充実（平成 26 年度より継続）

✦ アクションプラン実施に向けた実態把握

- 昨年度までの取り組みや利用実績をもとにした分析
 - ・満足度、受講回数、年代、性別に加え「利用しやすい曜日や時間帯」も調査し、アクションプランの設定につなげた。

✦ アクションプランの設定と実施

- アクションプランのテーマ及び各館の実態に応じたアクションプランの設定



【テーマ】

男性・子育て世代の新規利用者増をめざす主催講座
～現代的課題と市民ニーズを融合させて～



《各館設定のアクションプラン（抜粋）》

- 男性料理（※年 2 シリーズ、継続）、親子で参加できる講座の開催（人形劇、親子陶芸等）。
- 日ごろ仕事等で公民館に来られない方を対象とした、土・日または夜間に実施できる講座開設。
- 親子や家族で参加できる講座の充実。
- 子ども講座の増設と、保護者に対する公民館への意識の高揚。
- 地域人材を活用した講座企画
- 新たな講座や現代的課題も取り入れた講座企画を行い、生涯学習の機会を増やすとともに、生涯学習を通したひとづくり・まちづくりの手立ての検討。
- 自治会・地域公民館・NPO等の地域活動団体との連携。
- おでかけ公民館講座、家庭教育支援等（親の学びプログラム）の事業の実施。

【別紙資料Ⅰ】

○アクションプランの実施

- ・男性向けの講座（52 講座）
 - ・・・「趣味的な講座」「料理講座」「地域や歴史をテーマとした講座」
 - ・子育て世代向けの講座（69 講座）
 - ・・・「親子で活動できる講座」「中心となる対象が保護者になる講座」「中心となる対象が子どもであるが保護者も参加可能な講座」
- （※共にシリーズものは 1 講座でカウント）【別紙資料Ⅱ及びⅢ】



アクションプランの検証・分析

・講座内容の工夫

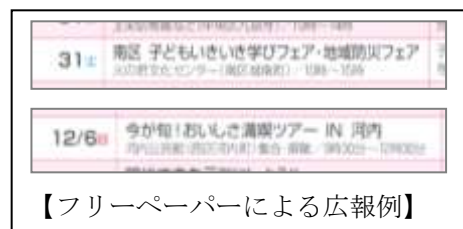
- ① 「すくすくあそび」13組の親子が参加。「ファーストサイン」(9月)31組、(12月)25組、高倍率の申込み。ベビービクスとあわせ、親子・参加者同士のコミュニケーションを図る場になるとともに、若い世代の方に公民館を知り利用していただくきっかけとして有効であった。
- ② 「パパビクス」16組の父子が参加。最初は戸惑い気味のパパも最後は笑顔がはじけ、満足度も高かった。「そば打ち体験」男性9人の応募。(とくに男性限定とはしなかったものの半数以上が男性)
- ③ 36人定員に46人の応募があり、歴史講座への関心が高いことが分かった。毎回欠席もほとんどなく、皆が楽しんで学ばれている。
- ④ 夜間開催講座数6件(前年度3件)、土日祝開催講座数16件(前年度9件)開設をした。男性の参加者は前年度より67人増、昨年度1講座あたり3.9人の参加から、5.4人の参加に増えており、男性参加者の伸びが見られた。
- ⑤ 子育て世代応援講座として開催の「ベビー&マミービクス」には毎回定員の3倍近い応募があり、講座の増設を行い対処している。新規開設した「男性向け料理講座」は大好評であった。
- ⑥ 仕事をされている方の夜間講座のニーズが多かったので、いくつか企画・実施したところ、予想通り20～40代の男性を含め、仕事帰りに参加される方が多かった。親子対象では、親子でタブレットの操作・ネット環境を使用する際の危険性を学ぶことができた。親子のふれあいができたという感想が聞かれた。
- ⑦ 平日夜間に行った健康をテーマにした講座は、2講座とも定員を大きく上回る申込みがあり、土曜日に実施した「オリーブ石鹸づくり」は参加の半数近くが30歳代の方であった。

【別紙資料Ⅰ】

・広報の工夫

- ① 広報に関しては平成26年度同様に“市政だより”による参加のきっかけが多い。その他、各館でチラシ等の設置場所や配布方法を工夫している。「家庭教育講演会で、入口アンケートを行った結果、家庭教育学級のない小学校校区からの参加が数人あり、チラシの効果があった。」という館も見られた。

また、それ以外にも民間のテレビやラジオ、新聞、フリーペーパーによる広報を取り入れている館も有り、新規利用者の獲得にも成果を得ている。



【フリーペーパーによる広報例】

- ② 子ども講座については、引率してくる保護者の方が参加できるような講座をチラシで周知したため、その保護者が参加申込みをすることも増えた。また、近隣の館同士でお互いに講座紹介を掲載しあうことで広く周知できるようにした。

- ・「よかった講座」報告集の作成（別冊資料）

アクションプランも含めて、今年度も次の内容で作成した。各館の取組について共有化を図るとともにアクションプランの設定にとっても役に立っている。

①「社会の要請」にこたえる講座

○公設公民館ならではの講座開設の視点（現代的課題の解決、市民企画講座など）

②「地域との連携」

○各種団体やNPO、企業、各種学校、ボランティア等との連携（学社融合事業、おでかけ公民館講座、ボランティアの活用、自主講座の活用など）

❖ 成果と今後の課題 【別紙資料Ⅳ】

初めて公民館講座を受講した人の男女の別（グラフ②）は、男性 26%、女性 74%（前年度、男性 20%、女性 80%）であり、男性は前年度比 6 ポイント増で取組の成果が見られた。公民館ではあらゆる世代を対象としながらも、対象とする世代や性別を明確にし、講座を充実させることが今後の生涯学習の振興及び啓発につながると思われる。

また、初めて公民館講座を受講した人の満足度（グラフ④）は、「満足」「概ね満足」合わせて 100%（前年度 93%）であり、「継続して学習したい」「他の講座を受講したい」という受講後の意識（グラフ⑤）から、公民館講座の質は高いものがあり、生涯学習のきっかけに十分なり得ていると考えられる。実際に、新規利用者の男性が他の講座も受講し、継続的に公民館を利用されているという事例が報告されている。

子育て世代である、初めて公民館講座を受講した 30・40 代の割合（グラフ③）は合わせて 32%（前年度 30%）であり、前年度比 2 ポイント増であった。しかし、まだ対策を講じる余地があると思われる。一つの考察として、30 代の利用者数に比べ、40 代の利用者数が少ないことについては、利用者自身の子育ても幼児から小学生、または中学生と世代が移り、親子での参加が少なくなったためとも考えられる。部活動が始まる年代から講座への参加が少なくなる傾向にあるため、さらにその原因を究明し、わが子の受験対策や SNS 情報など保護者の関心が高いと思われることについて、講座開設の際に考慮していく必要がある。

❖ 来年度の方向性

子育て世代を対象とした講座に加え、それぞれの館の実態に合わせ、男性向けの講座に関しては内容を吟味したり、単発講座をシリーズ化したりするなど本年度の結果を踏まえ、PDCA サイクルの活用により、今後も利用者の拡大を目指していきたい。講師等の都合や自主講座の都合上開催時間帯には制限がある館も見られるが、限られた条件の中でもより効果的な講座を開設していきたい。

また、新規講座講師を発掘したり、地域の人材探しをしたりすることで、新たな講座や館ごとの特色ある講座を開設していくことも視野に入れていきたい。さらに、まちづくり関連の講座を始め、現代的課題に対する手立ても公立公民館として取り組んでいきたい。

熊本市公立公民館の一番大きな強みは 19 館のネットワークである。お互いの先行事例等を共有し、ネットワークを活かしながら、生涯学習の振興に努めていきたい。

	中央公民館	大江公民館
ア ク シ 2 ヨ 7 ン 年 ブ 度 ラ ン	①乳幼児と保護者対象の新講座の開催（「親子で楽しく！すくすくあそび（5月～全5回）」） ※継続 ②夜間講座の開催（「パワーポイント（8月予定全4回）」「初めてのロックバンド（11月～全7回）」「バンドで歌うグループサウンズ（9月～全4回）」※継続 ③男性料理（※年2シリーズ、継続）、親子で参加できる講座の開催（人形劇、親子陶芸等）	①子ども講座・親子講座の継続・実施。 ②男性講座の開催と内容の充実 ③広報の工夫（男性も気軽に参加できるような内容のチラシ作り・新たな広報場所の開拓）
2 7 組 年 ん 度 だ 実 こ 際 と に 取 り	①親子で楽しく！すくすくあそび（2～3歳児と保護者）、ファーストサイン（9月～、12月～） ②パワーポイント入門（8/25～28）、初めてのロックバンド（11月～）、バンドで歌うグループサウンズ（9/17～10/29） ③男性料理（5月～、11月～）、お楽しみ人形劇（5/10）、親子陶芸（8/22）、ファミリーエコクッキング（11月）	①「親子タブレット（夏・冬）」、親子で活かすクリスマス花（12月開催予定） ②男のスタミナ料理、男の厨房、魚のさばき方教室(AMPM) ③「男の厨房」…興味・関心をもっといただけるようなタイトルの工夫、「小学生対象講座の広報」…公民館利用者にチラシを個別配布、小学校にチラシを持参し対象学年児童へ配布をお願いした。
取 り 組 み の 成 果	①「すくすくあそび」13組の母子が参加。「ファースサイン」（9月）31組、（12月）25組、高倍率の申込。ベビービクスとあわせ、親子・参加者同士のコミュニケーションを図る場になるとともに、若い世代の方に公民館を知り利用していただくきっかけとして有効。 ②「パワーポイント」15人中30代、40代の参加者2人、男性7人「ロックバンド」21人中、男性11人、高校生2人、20代1人、「グループサウンズ」16人中男性7人夜間開催の為、若者の参加有。 ③「男性料理」（5月）30～40代3人、（11月）40代1人、「お楽しみ人形劇」熊本大学サカサキ青い鳥との連携、30～40代男性3人、女性7人、「親子陶芸（夏休み）」30～40代男性1人、女性7人、働き世代の参加もあった。「ファミリーエコクッキング」12組28人の参加	①「親子タブレット（夏）」4組参加、タブレットの基本操作にあわせ、現代的課題の一つである情報モラル・セキュリティについて理解を深めていただく機会となった。②「魚のさばき方」男性限定ではないが内容を工夫することで、午前6名、午後8名の男性参加があった。 ③小学生対象講座の申込、参加が増えた。
課 題	①ベビービクス（月齢に応じた3種×年2シーズン開催）の会場確保、午前中が望ましいが、自主講座の関係上午後にはしか開催できない。 ②講師の都合もあり、夜間開催講座を増やしていく現状がある。 ③特に親子講座では父親の参加もねらいとしているが、様々な家庭環境の中、対象を「父親」と限定しづらい面もある。	①特に情報モラル・セキュリティについては親子で学ぶ機会を提供することが重要と考える。各学校、家庭教育学級生をととして広報する必要がある。②参加者アンケート結果を元に、男性が興味関心を持つと思われる内容を取り入れる必要がある。③参加して欲しい世代、年代によっては従来の広報の他、町内自治会等へさらに積極的に広報する必要がある。
（ 今 後 の 課 題 ・ 方 向 性 な ど ）	①当館には児童室（館）がない一方で、市民の方からの乳幼児と保護者対象講座開設を希望する声も多く、今後も内容を工夫しながら継続して開設していく。 ②学生や働き世代も参加できるような内容の夜間講座を継続して開設する。 ③男性料理や、主に父親の参加をねらいとする親子講座を継続して開設する。	①趣味・習い事の他、現代的課題解決のための子ども講座・親子講座を開催していく。 ②男性講座の開催と内容の工夫（継続） ③広報の工夫（継続）
そ の 他	・NPO等市民の団体から講座開設の相談も多く、アクションプランの趣旨の沿った内容のものを市民企画講座としてより積極的に採用していく。	・学校や地域諸団体との連携をより強化していく。

中央区

東区

	五福公民館	東部公民館
ア ク シ 2 ヨ 7 ン 年 ブ 度 ラ ン	・子育て世代をターゲットした講座の開催。 ・食育に関する講座の開催。 ・親子参加の講座の充実。 ※男性に関心の高い講座の開催。	・「健康に関する講座」「男性限定講座」「夜間講座」「歴史講座」の開講と内容充実 ・家庭教育支援に関する講座（家庭教育学級・お出かけ講座を中心に）の開講数増 ・学んだことを活かす場の設定（自主講座生・公民館サポーターを中心に） ・ハートフル講演会の新規開講 ・「親の学びプログラム」の新規実施
2 7 年 度 だ 実 こ 際 と に 取 り 組	①父子対象「パパピクス」家族対象「ファミリーピクス」 ②親子参加「親子で和食に挑戦」 ③男性に関心の高い講座「そば打ち体験」（市民企画講座） ④子育て世代向け「テンススタイルヨガ」	①東区保健子ども課、東区健康まちづくり推進員と連携した講演会「いつまでもイキイキ健康ライフ」実施 ②男性限定講座「お酒のおつまみ3品」実施 ③歴史講座「熊本歴史」実施「健軍と西南戦争」実施予定 ④東部公民館サポーター「さくら」とおはなしボランティア講座生によるおでかけ講座実施 ⑤山ノ内小学校「ハートフル講演会」実施 ⑥合同家庭教育学級時に「親の学びプログラム」を実施
取 り 組 み の 成 果	①「パパピクス」16組の父子が参加。最初は戸惑い気味のパパも最後は笑顔がはじけ、満足度も高かった。 ②「親子で和食に挑戦」6組の参加。和食の基本、出汁など食育にもつながる講座。 ③「そば打ち体験」男性9名の応募。（とくに男性限定とはしなかったものの半数以上が男性） ④「テンススタイルヨガ」昨年に引き続き30、40代女性に人気が高い。	①参加者96名。「健熊体操21」を東区まちづくり推進員の指導で学んだ。「これを機に毎日続けたい」「毎年やって欲しい」との声が上がっていた。 ②参加者12人と少なかったが、初めて申し込んだ方も多く、「第2弾、第3弾」を企画してほしいという感想があった。 ③36名定員に46名の応募があり、歴史講座への関心が高いことが分かった。毎回欠席もほとんどなく、皆楽しんで学ばれている。 ④ボランティアの方々も練習したことを実践することで自信を付けられたようである。 ⑤⑥はこれから実施予定
課 題	・「パパピクス」は広報期間を長くしたこと、他講座に参加のママたちに広報したことで、多くの参加をいただいた。この機会を生かすためにも、単発ではなくシリーズ、もしくはパパたちをターゲットにした関連講座を集中的にうつ必要性を感じた。 ・「親子で和食に挑戦」はターゲットの趣味趣向を分析する必要性あり。	①「健熊体操21」は音源が手に入りにくいので、子ども保健課のほうでHPにアップする方法も考えられている。更に簡単に効果的に続けられる体操を紹介したい。 ②新規講座生を増やすことが出来ると期待していたが、余り人数は増えなかった。新規の方が申し込みやすいチラシや広報の仕方（継続して口コミを広げる等）を考える必要がある。 ④ボランティアの方々が学んだことを生かす場が一つ出来たので、それを充実させながら、新たな場を作っていくことが出来るといいと思う。
（ 今 後 の 課 題 ・ 方 向 性 な ど ）	・今年度は、主催講座に参加される男性数が昨年度よりも増えてきている。来年度は男性向けの講座の開設を行っていききたい。 ・父子参加の講座は今年度1講座であったが、来年度は複数回の開催で定着させていききたい。	・「健康講座」は講演会形式の講座だけでなく、連続講座や実技を取り入れたもの、ミニ講座等、様々な形式で対応出来るように工夫していききたい。 ・「男性限定講座」については、内容を再度検討するとともに、前回参加した方の感想をチラシに掲載する等、初めての方でも参加しやすい環境づくりに努める。 ・全ての講座において、今年度より何らかの形で変化前進した講座作りを目指したい。
そ の 他	・秋季文化のつどいなど、他公民館の魅力なる活動を五福公民館にとりいれるとともに、さらにあらゆる世代に向けた講座を開催していききたい。	・他課、地域団体、公民館ボランティア等との連携を更に図っていききたい。

託麻公民館	秋津公民館
・公民館講座利用者において男性と子育て世代の利用率向上のための講座を、単発ではなく講座内容を関連付けて企画していく。 ・地域づくりの一環として、地域住民によるボランティア組織に準じるものを立ち上げ、公民館を拠点とした持続可能な活動につなげていく。 ・地域諸団体との連携、学社融合の充実のために、積極的な広報、学びを生かす場の提供をしていく。	・「自然豊かな笑顔あふれる未来のまち」の実現のために、地域を支えるリーダー作りを念頭に置いた生涯教育の推進を図る。 ・区の目標、地域の課題に則した自然、健康、親子、食育、芸術に関する講座の企画に取り組む。
・より多くの男性参加を期待して企画した講座として「一眼レフデジタルカメラ講座」「託麻地域の地名や史跡、遺跡に関する講座」「魚のさばき方」「包丁とぎ」「初心者男性料理教室」「初心者向けエクセル入門」など。 ・子育て世代向けに、趣味的な講座だけでなく、実生活に役立つ「学び」を意識した講座、これまであまりなかった1歳児未満と母親を対象とした講座企画した。（「親子整理収納教室」「親子で学ぶお小遣いゲーム」「親子茶道、生け花、そば打ち体験など」「ジュニア漫画教室」「子育て応援市民企画」「ママとベビーとヨガ」など ・桜草の苗づくり、移植のためのボランティア活動を2回実施。 ・「ママとベビーのヨガ」講座で地域民生児童員さんに来ていただき、活動、情報の紹介などをしていただいた。	地域のリーダー育成のため、秋津の歴史を知ること、周りとの和を図ることを大切なことと考えて、横井小楠の歴史講座や地元の珈琲店の協力を経て珈琲ドリップ講座を企画し、秋津への理解を深めようとした。 ・地元で取れる身近な材料を利用して親子で学ぶ食の講座、赤ちゃんのマッサージやキッズダンス、伝統技術としての肥後象嵌、大人も楽しめる紙芝居など、さまざまな分野で住民が健康で笑顔になれるような講座に取り組んだ。
・公民館主催講座の男性の参加者の割合が24%に対して、男性参加者を期待して企画した講座については、55%となり成果があった。関連を持たせて設定した講座へ申し込む受講者も見られた。子育て世代の参加者は、平成26年度は26%であったが、平成27年度は35%と増えた。 ・趣味的なものに比べ応募者はやや少なかったが、講座受講後親と子が共通理解を持てたことがよかった。 ・ボランティア養成講座を主催講座で行ったが、参加者をその後の活動へ導くことが不十分であった。地域作りの講座企画をしている方が、もう一歩のところまで来ているので引き続き支援を続ける。	・全員が60歳以上であったが、秋津に対する愛着も深く熱心に歴史講座を受講する人ばかりであった。18名参加。和を作るための珈琲講座には12名参加。みな、楽しく学習できた旨の感想であった。 ・赤ちゃんと母親を対象にした講座では、常に定員を上回る申込があり、子育て世代の要求を実感できた。定年を迎えた世代と子育て世代の受講が非常に目立つ傾向にあり、30～50代の男性に関してはほとんど利用は無かった。
・男性が興味を持つような内容について社会教育主事会で話し合い講座の種類を増やしていく。 ・親子講座については、単発に終わっていること、受講後の学びがどの様に生かされているのかが把握できていない。 ・どのようなボランティア活動につなげていくのかを、参加者と話し合い明確にしていく必要がある。「花」をきっかけとして取り組んでいければと考える。	高齢者と学校を連携させる環境を構築しなければならない。生涯学習での学びを学社融合で生かせるように工夫が必要である。
・男性向け講座、子育て世代向け講座、子ども向け講座などの講座数、講座の質の向上を図っていった。受講者数の向上など成果が見られてきた。広報の面で、特に子育て向け講座の広報については、外部メディアとの連携を模索していきたい。 ・現代的課題・まちづくりにつながる講座、ボランティア活動などに少しずつ取り組んできたが、来年度は市民の方を巻き込んで発展させていきたい。	伝承遊びの先生を育成するための主催講座を開催し、地域の教育力を高める取り組みを支援する。東区のまちづくりの取り組みと協働を図り、子ども会や青少協に働きかけて一緒に子どもたちの遊び場作りを支援する。 定年を迎えた活動的な地域の人々の力を学校教育に生かせる場を作る取り組みを考える。

西区

	西部公民館	花園公民館
ア ク シ 2 7 年 度 プ ラ ン	(1) 男性・子育て世代の新規利用者増を目指して ①平日夜間や土日祝に行う講座数を増やす。 ②親子や家族で参加できる講座の充実する。 ③子ども講座についてきた保護者にアンケートをとり、男性・子育て世代のニーズを知る。 (2) 現代的課題と市民のニーズに応じた講座の工夫 ①「教養」や「体育・レクリエーション」の講座ばかりでなく、どのジャンルに関しても満遍なく実施するよう努める。 ②現代的な課題に即した新規講座の開発する。	①10代後半、20代～40代の若い世代（特に男性）が、参加しやすい興味・関心のある講座(若いお父さん向けの料理、父親ビクスなど) 企画をアンケート等により追究する。 ②新たな講座や現代的課題も取り入れた講座企画を行い、生涯学習の機会を増やすとともに、生涯学習を通じたひとづくり・まちづくりの手立てを検討する。 ③公民館講座等で学習された方の2次活用的な場（おでかけ公民館講座）の情報提供や支援のあり方、方法等を検討する。
2 7 年 度 だ 実 こ 際 と に 取 り 組	(1) ①平日夜間には、新たに『会社の作り方セミナー』、『海外ロングステイセミナー』。土日祝では、『人物郷土史』を復活、「旬の魚のさばき方」を実施。 ②親子講座で、新たに「親子でフラダンス」、「親子クリスマスケーキづくり」を実施。 (2) ①家庭教育・家庭生活では、「おはなしボランティア養成講座」、職業知識・技術の向上では、「会社の作り方セミナー」、市民意識・社会連帯意識では、「海外ロングステイセミナー」を実施。 ②子どもたちへのキャリア教育のために、昨年度に引き続き「親子職業体験・社会科見学ツアー」を実施。	①及び②については、高齢者料理教室、花園ふれあい、いきいきサロン交流会を実施。 ③当公民館にて学習されている自主講座生によるおでかけ公民館講座を22回開催。
取 り 組 み の 成 果	(1) ①夜間開催講座は、昨年度の3講座から6講座に増えた。土日祝開催講座は、昨年度の9講座から16講座に増えた。男性の参加者は前年度より67人増、昨年度1講座あたり3.9人の参加から、5.4人の参加に増えており、男性参加者の伸びが見られた。 ②小学生以上対象の親子講座は、昨年度の1講座から4講座に増えた。子育て世代の参加は昨年度（11月末現在）で0だったのが、今年度は36人（うち男性3人）になっている。 (2) ①家庭教育・家庭生活は、前年度より4講座増、職業知識・技術の向上では、前年度より4講座増であった。昨年度よりもジャンルによる偏りが少なくなった。 ②今年度はまだ実施していないが、昨年度実施した「親子職業体験・社会科見学ツアー」では、子どもたちが職業に関心を持ち、いろいろ質問する子どももいた。	①及び②に関して、料理教室については毎回違うメニューを取り上げてもらい、仕事中心で生活をしてこられた方々が料理に興味を持ち、生涯学習へのきっかけとなる講座になった。サロン交流会に関しては、地域の社会福祉事業に貢献できる内容であった。 ③については公民館として自主講座生の派遣が増えてきている。
課 題	(1) ③子ども講座に引率してきた保護者にアンケートをとるのが難しく、子育て世代のニーズを探るのができなかった。 (2) ①市民意識・社会連帯意識は、前年度より増減がなく、まちづくり関連の講座等を実施し、今後の熊本市の課題に対する手立ても考える必要がある。 ②現代的課題に特化した新しい講座をあまり実施することができなかった。現代的な課題と市民のニーズをマッチさせた講座の開発の必要性を感じた。	○当館の来場者の中でも最も利用者が少ない年代であるため、ニーズの把握も難しい状況である。まずは各家庭教育学級で男性を巻き込んだ親子講座の提案などの検討が必要。 ○おでかけ公民館講座としての自主講座の活用にかたよりが見られる。
（今 後の 課 題 ・ 方 向 性 な ど） 2 7 年 度 ま と め	①パソコン講座等講座内容によっては夜間に開催したほうがよいものもあることがわかったので、講座内容を考えて夜間に開催する。 ②可能であれば、近くにある熊本西高校との連携事業を企画する。（小学生対象のカルタ講座など） ③地域の方々と連携事業を行い、まちづくりに寄与する講座を企画する。	①にかかげた世代を公民館へ呼び込むことができるような講座企画を行うとともに、まずは公民館に興味を持ってもらえるように広報等についても工夫していきたい。 お出かけ公民館講座としての自主講座利用時には、公民館側で十分な配慮と調整を図りながら、今後も支援のあり方を継続して検討する。
そ の 他	○西区3館で協力して、西区の特色ある講座や講演会を企画していきたいと思う。	他の公民館と協力連携を図りながら、今年度感じた講座企画の反省点を今後生かしていけるようにしたい。

南区

河内公民館	南部公民館
子育て世代や親子向け講座を充実させる。 地域団体と協力したり、お出かけ公民館講座を活用したりしながら、生涯学習への新規参加者増をめざす。（特に男性を中心とした地域団体など） 現代的・社会的な課題に迫る講座となるよう、講師に講座開設の趣旨や協力を依頼する。	・子育て世代をターゲットした講座の開催。（人気講師招聘や周知の工夫） ・未来の宝である子ども向け講座の充実。（親も子も関心がある講座立案） ・親子参加の講座を数多く実施する。（父親も参加できる講座の実施） ・地域人材を活用した講座企画。 ※男性に関心の高い講座の開催。
①親子向け講座を開催「親子タケノコ掘り体験」「柏もちを作ろう」「親子タブレット体験講座」「夏野菜カレー作り」などの講座を実施。子育てサークル、児童民生委員の方々と共催による講座の開設。 ②男性をターゲットとした夜間講座の開設（ゴルフ講座） ③自治協議会、地域公民館連絡協議会からの依頼によるお出かけ公民館講座の実施。 ④地域団体によるまちづくりに向けた市民企画講座の開催	○子育て世代として、若いお母さん方向けの講座を増やした。 ○子ども向けの講座を数多く開催 ○男性向けの講座を新設 ○地域のお住まいの方を講座講師として招聘
①「親子タケノコ掘り体験」には11組31人の家族連れ、「夏野菜カレー作り」には10組25人の親子での参加が見られた。子育て世代向けの講座においては児童民生委員の方の協力があり、乳幼児を預かってもらう間に母親向けの学習を充実させることができた。 ②13人の参加。アンケートからも「毎年してほしい」や「期間をもう少し長く設定してほしい」などおおむね好評であった。 ③おでかけ公民館ではあるが、まちづくりや人権に関する啓発を行ったことは成果の一つである。生涯学習啓発の一つになったと思われる。	○子育て世代応援講座として開催の「ベビー＆マミーピクス」には毎回3倍近い応募があり、講座の増設を行い対処。大変喜ばれた。 ○土曜日曜中心に子ども向けの「卓球」「書道」「華道茶道」を実施。子どもの来館数も増えた。 ○新規開設した「男性向け料理講座」は大好評であった。その折の講師は地域人材活用の一例として地域にお住まいの方を招聘した。
○親子向けの講座の中で、成功といえるものとそうでないものの差が大きく見られた。各家庭の価値観が尊重される中、公民館講座に引き寄せるにはより魅力ある講座を工夫し開設していかなければならないと感じた。 ○まちづくりや人権啓発に関わる講座は数の面でやはり課題が残る。今後どのような形で学習の機会を増やしていくかを考えていく必要がある（公民館の敷居を高く感じさせないような工夫）。	○子ども向けの「ベビー＆マミーピクス」に対象外の子ども連れ参加が多くあった。「預けてないので連れてくるしかなかった」との声を聞き、まだ子守りつき講座を開催したことがないが、南部でも開催の必要性を考えたことであった。 ○子ども講座も運動講座開催希望の声を聞いたが、どうしてもホールの使用制限があって開催できないこともあり、おでかけ公民館として他施設との共同開催を考える必要がある。
①エリア内の子育て世代の人口比率が低く、なかなか人を呼ぶことができないが、人気講座に関してはエリアに限らず多くの申込が見られる。地域の特性を生かした魅力ある体験的な講座を開発し、利用者増に努めて生きたい。 ②現代的・社会的課題の解決に向け、主催講座のみならず、おでかけ公民館の制度を活用し、積極的に地域に啓発を行う。	○「子育て世代向け講座」の講座が決まってきているので、新しい人達の獲得も考えて、新規講座講師も考えたい。 ○現代課題に即した講座を市民の方々の声を生かして開催していきたい。 ○公民館にあまり足を困んだことの無い男性をターゲットにアンケートを生かして講座を企画していく。
○地域団体の防災訓練や地元まちおこし団体の講演会、市民企画講座などにより、地域と一緒にあった主催講座やおでかけ公民館講座を開催することができたところは、今年度の成果の一つである。地域のまちづくりの流れの中での公民館のあり方や公民館講座の運営の仕方について今後も検討していきたい。	○地域団体と公民館が一緒になって取り組む講座が少ない。企画しても無理をして参加していただくケースが多いようである。無理なく地域の為に有効な講座を公民館主体としてではあるが、他の部署とも協力して開催することの検討が必要である。 （市民の声を聞く他の部署の企画は、開催意義があまり無かったように感じた）

南区

	幸田公民館	飽田公民館
ア ク シ 2 7 ヨ ン 年 度 ブ ラ ン	①男性の参加率（特に20～40代）を更に上げるために、仕事帰りに参加できる講座（夜間）を実施する。 ②家庭教育支援関係の講座を実施していきたいが、その中で、地域の人材を活用した講座を企画していく。 ③大学生を活用した「子ども講座」を企画する。	○受講生が公民館で学習して学んで知識や成果を生かして行く場所の設定。 ○健康・人権・家族・消費者問題・まちづくり等の現代的課題に関する学級・講座等を充実する。 ○参加者が参加しやすい期日・時間の設定。 ○地域・学校での出前講座の実施。
取 2 7 組 年 度 だ 実 こ 際 と に	①男性の参加率（特に20～40代）をあげる講座 「ステップアップ手話」・「トラベル英会話」・「Ipad講座」 「エクセルパソコン講座」 ②家庭教育支援で、地域の人材を活用した講座 「健康学びの教室」、「キッズIpad～親子で～」 ③南区子どもチャレンジ公民館（天明公民館と共催） 「スケートに行こう！」（予定）	①健康をテーマに講演会や主催講座及び健康まつりなどを実施。 ②親子で一緒に学べる講座として「お菓子やケーキ作り」等のふれあい講座を開設した。
取 り 組 み の 成 果	①仕事をされている方の夜間講座のニーズが多かったので、いくつか企画・実施したが、予想通り20～40代の男性を含め、仕事帰りに参加される方が多かった。 ②「家族の中に高齢者のいる方」をターゲットにした家庭教育支援講座を地域の御幸病院と協力し企画・実施した。認知症の方への接し方などを学ぶことができ、受講してよかったという感想が多く聞かれた。親子対象では、近隣のパソコンスクール「マリオネット」と協力し、親子でIpadの操作・ネット環境を使用する際の危険性などを学ぶことができた。親子のふれあいができたという感想が聞かれた。 ③熊本メイクフレンズの皆さんに参加していただくのは初めてだったが、子どもたちは大学生と年代も近いことから親近感があり、とても楽しかったという感想が多く聞かれた。	①子ども講座に関しては継続して実施した。特に幼児を対象としたベビーマミービクスなどの主催講座の申込みは増えてきた。 ②夏休みは公民館へ行こうをキャッチフレーズに小学生を対象とした宿題サポート教室やキッズそろばん教室等を開設し多くの申し込みがあった。 ③熊本県立西高校の科学部の生徒と一緒に夏休みの期間中に「おもしろ科学実験」の講座を開設して色々な化学のおもしろい体験が出来た。 ④飽田地域伝統文化・子ども文化祭及びあきた健康まつりの開催。
課 題	①夜間講座に関しては課題を感じなかったが、できれば早朝講座なども企画できたらと感じた。 ②今回は、地域の病院・企業と連携を図ったが、地域にはまだ多くの知識・技能を持たれている方がいらっしゃると思うので、地域の人材探しをする必要がある。 ③大学生を活用することは大変効果があると感じたが、一つの大学の学生だけでなく、他の大学の学生にも協力・依頼していく必要があると感じた。	飽田地域の伝統文化やまちづくり支援並びに健康福祉などの活動が途切れることなく、各種団体や南区の関係課と協働で企画し、地域住民の健康増進に繋がる様な取り組みを積極的に実施していきたい。
の 2 課 7 題 ・ 度 方 ま 向 と 性 め な （ 今 ） 後	①夜間講座については、ニーズが多いので次年度も継続して企画したいが、内容についてはこれまで開催していない内容も入れていきたいと考えている。 ②地域人材の活用では、地域にお住まいの方を活用していきたいと考える。（漬物漬け名人の方など） ③大学生の方の活用については、熊本大学以外の学生の方にも積極的に協力・依頼をしていきたい。	講座企画にあたっては、年間計画を組む際に地域や学校等の行事なども考慮したうえで、適切な時期を見て開催していきたい。特に子育て支援の家庭教育学級が十分な活動がなされなかったので、年間を通して計画的、組織的、継続的に行えるよう各学校やPTAに働きかけて家庭教育の重要性を再認識し、その充実を図るための方策を図っていきたい。
そ の 他	○幸田公民館ならではの特色ある講座を開催するために、地域の方のニーズをアンケート及び聞き取り調査で把握していきたいと考えている。 ○南区6館で協力して、南区の特色ある講座や講演会を企画していきたいと思う。	あきた健康まつりについては、各世帯に健康まちづくりに関するアンケートを実施し、そのアンケート結果をもとに、飽田地区の住民がみんなで「より元気に、より健康に」をテーマで開催する。

天明公民館	富合公民館
○全体的に人数が減ってきている中で、若い世代の方々（キッズも含め）に参加していただく講座の開設（学習の機会を増やす）及び参加者増のための周知方法の工夫。 ○天明地域で活動されている方や団体、NPO法人と連携した講座・講演会の継続実施。（地域人材の活用） ○世代間交流を目的とした新たな講座の実施。	①子ども講座、親子講座の継続実施。参加しやすいように土日祝日に実施。 ②託児または見守り付きの講座の実施。 ③学校との連携(おでかけ公民館等)、家庭教育支援等の事業の実施。
①親子で参加する講座「親子でわくわくクッキング」「親子ピクス」「親子リトミック」新たに「アロマ」や「トランポリン」講座を企画した。 ②地域人材の活用（銭塘手遊び会、天寿園、地域にお住まいの講師、） ③歌を通しての世代間交流「みんなで歌おう♪いい歌講座」の実施。	①・「キッズイングリッシュ」「キッズ体操」等子ども講座実施 ・「親子カヌー教室」「親子こうひつ」「登山」等親子講座実施 ②見守り付「ママが主役!ママヨガ」、 託児付「子どもが喜ぶ!米粉の料理」の実施 ③・学社融合「6年家庭科ゲストティーチャー派遣」 ・家庭教育学級(富合小・富合中)の開設及び実施
①昨年度に比べて、「親子でわくわくクッキング」8組、トランポリン14人など参加者が増えている。 また飽田公民館だよりに「児童室のお知らせ」を載せていただいているので、飽田方面からの参加者が増えている。 ②銭塘手遊び会の3つの講座は、毎回抽選となり、回数等の増加希望が多い。 夜間のパソコン講座には、男性の参加者が多く見られた。 （銭塘手遊び会の講座は、今まですべて女性の参加者だったが、わずかではあるが男性の参加が見られた。「こけ玉づくり」1人、「クラフトテープ」1人） ③歌を通して大人と子どもの交流を図ることができた。	①子ども講座、親子講座はいつも人気が高い。子どもの参加により、子育て世代の保護者などにも公民館の利用を促すことが出来た。 ②見守り・託児付になると子育て世代の希望も多く、募集も多かった。参加者にも喜んでいただけた。 ③連絡調整にも学校と連携がとれスムーズに実施できた。 家庭教育学級は本年度からの実施で、公民館が主体になり実施できた。親子のふれあいを目的とした講座を中心に参加者も集まり年間6回実施することが出来た。
①若い世代、男性などの参加を増やすために家庭教育合同学習会・講演会に参加される方、児童室に来室される方などから直接話を聞き、参加したい、しやすい講座をまとめ企画していきたい。 ②いろいろな世代の方々との交流の場となるような講座を企画していきたい。	①親子講座は人気が高いが、マンネリ化しないような工夫も必要かと思われる。また、土日の開催になるので部屋の確保が難しい。 ②見守り・託児付の講座は人気が高いが、報償費がその分だけ必要になる。数多く実施するのは難しい。 ③日頃から学校との連携をとっておくことで事業の実施もスムーズに行えると思われる。 家庭教育学級については、来年度より徐々に保護者・家庭教育学級生を中心に運営できるようにしていく必要がある。
①全体的に見て若い世代、男性の参加者が少なかった。若い世代や男性の集まる場で情報収集を行っていききたい。 ②講演会や講座を企画していく上で、地域の方々の声を聞いたり、講演会等の情報を地域の方の集まりのある時などにも周知したりすることで地域とのつながりをさらに深めていきたい。	①シリーズで実施する講座については、作品を仕上げ掲示したり、発表会に出演したりし、目標を持って学習を進めた。各講座においても、学習の目標を持って取り組めるようにしていきたい。 ②参加者のニーズを考えると乳幼児保護者向けの講座の回数を増やしたいところではあるが、やはり予算の面で回数を多くはしにくいところがある。 ③学校との連携については、コーディネート研修等で実施できる内容の周知を図って生きたい。 家庭教育学級については、各回ごとの参加者数が増えるように参加の呼びかけを行っていききたい。
定員に満たない講座があったり、世代間の交流を目的とした講座であっても、天明地域の子どもの参加が少なかったりしたので、周知の方法を工夫し、魅力ある講座の発掘に努めていきたい。	学校や地域での取り組み、家庭教育学級については、日頃から連絡・連携をとるように心がけ、スムーズな運営になるようにしていきたい。

南区

北区

	城南公民館	龍田公民館
ア ク シ ョ ン 2 年 度 プ ラ ン	①男性が興味を持つ講座の開設。 ②子育て世代が興味を持つ講座の開設。 ③大人と子どもが一緒にできる講座の開設。 ④学校やPTA、地域婦人会、地域自治会と連携しながら、家庭教育講演会やお出かけ公民館を充実。	①子ども講座の継続実施。および長期休業期間における子どもあるいは親子講座の実施。 ②家庭教育学級が開設されていない学校の保護者にも参加していただけるような合同講演会の実施。 ③土日や夜間の講座に関しては、若い世代が参加しやすい講座を実施する。
2 7 組 年 度 だ 実 こ 際 と に 取 り	①「魚のさばき方」「包丁の研ぎ方」などの講座の実施 ②「キッズバレエ」「わらべうたベビーマッサージ」「赤ちゃんのスキンケアとマッサージ」「読み聞かせ絵本講座」「夏休み宿題サポート」などの講座を実施 ③親子講座「タブレット」「クリスマスケーキづくり」「魚のさばき方」「母の日のための料理教室」の講座のほか、「シルバーリング作り」「はじめての革工芸」「キャンドル作り」「将棋」「囲碁」など、大人も子どもも共に楽しんで学べる講座を実施。 ④PTAと地域婦人会との共催で「家庭教育講演会」を実施。	①継続実施の子ども講座に関しては「子ども茶道」、「子ども三味線」、「子どもフラダンス」を実施。また、夏季休業期間から10月まで「子ども民謡」を実施。また、「キッズクッキング」、「親子DEクッキング」の2講座を夏季休業期間に実施した。 ②家庭教育講演会を実施し、家庭教育学級のない小学校へチラシの配布を行った。 ③夜間に「骨盤リセットプログラム」を実施し、現役世代の参加が増加した。
取 り 組 み の 成 果	①それぞれの講座には、多くの男性の応募があり、それを機にさまざまな講座へ継続的に応募される方が多くなってきた。 ②特にベビーマッサージの講座では、母親同士がつながりを持ち、講座の中で子育ての話をするのができ、好評を得た。 ③親子講座ではもちろんだが、ものづくりの講座や将棋・囲碁の講座では、「どなたでも参加可」としたので、異年齢の交流ができたと共に、子どもが参加された親も、一緒に活動できるようにしたため、より多くの方々に活動していただけた。 ④家庭教育講演会では、三者で協力することができた。さらに託児を設けたので、参加者も増え、好評であった。	①継続実施中の子ども講座については、引率してくる保護者の方が参加できるような講座をチラシで周知したため、保護者が参加申込みをすることも増えた。 ②家庭教育講演会で、入口アンケートを行った結果、家庭教育学級のない弓削小学校校区からの参加が数名あり、チラシの効果があつた。 ③夜間のパソコン講座や「骨盤リセットプログラム」では、2～40代の申込みが昨年度よりも増えている。
課 題	①なかなか難しく、参加される方も、同じ人が多くて、広がりがない。 ②効果的な周知方法で、さらに認知度を高める必要がある。 ③親子としたとき、内容的なことで、参加者の数は左右される。(タブレットやさばき方は少なかった。吟味して親子講座を作ることが必要。 ④PTA及び婦人会に予算が無く、今年度は報償費なしだったが、来年度より検討が必要。また公民館予算だけなので、講師選定が難しい。	①伝統的に続けている講座（三味線や民謡）に関しては申込者がかなり少ない現状がある。 ②家庭教育講演会では、弓削小学校校区からも参加させることに成功したが、家庭教育学級の新設まではいたっていない。 ③若い世代の申込みは増えているのだが、若い世代限定ではないので、抽選による落選は避けられなかった。
の 2 課 7 題 年 度 方 ま 向 と 性 め な へ ど 今 後	①参加される方から、横にも広がっていくように、広報等で周知するようにする。 ②地域に根ざした講座や地域で活躍する講師の講座をさらに充実させるとともに、地元の方々にも多く参加してもらうように、周知する。 ③コーディネイト研修において、公民館の役割を十分に伝えていくことで、学校との連携を図る。 ④家庭教育学級開設に向けて、情報収集を行うとともに、各学校・PTAと連携しながら、土台作りを行う。	①伝統的に続けている講座に関しては、どこかの時点で違う講座にすることも考えなくてはならない。しかし龍田公民館の特徴でもあるので、悩ましい。 ②家庭教育学級の数を増やすことではなく、家庭教育の支援を積極的に行う必要がある。 ③若い世代に向けた講座だけでなく、若い世代限定の講座の企画をしてもいいと思う。
そ の 他	年度当初からスムーズに実施できるよう、詳細な計画を立て、準備していく。	・どうしても、人が呼べるかあるいは周知の方法をどうするかで迷うことも多い。人が集まらなければ実績が上がらないため、予算を使うことがためらわれてしまう面もある。新しいジャンルに取り組むためには、アンテナを高く張って情報を得ることが必要であるとも考える。今後も他の公民館の社会教育主事と協力し合いながら、講座の企画を行っていきたいと思う。

清水公民館
①子ども講座の充実 ②男女共同参画社会を目指し、土・日に男性向けの料理講座開設 ③日ごろ仕事等で公民館に来られない方を対象とした、土・日または夜間に実施できる講座開設 ④IT講座を中心に1講座の実施回数を若干増やして実施 ⑤広報の工夫（新たな広報場所の開拓） ⑥地域諸団体の協力をいただいたの講座の実施 ⑦趣味的講座と社会の要請の融合
①こども向け講座を増やすと共に、その広報にも工夫を行った。 ②日曜日に連続の男性向け料理講座を実施した。 ③夜間に新たに若い女性をターゲットとした講座を開催した。 ④多くのIT講座の実施回数を1回増やして充実させた。 ⑤館内に新たに掲示場所を作ったり大学や付近の施設にお願いした ⑥地域の公園愛護会の方と取組みを行った。 ⑦講師をお願いをして、大事だと思われる内容を説明してもらった。
①子ども講座の実施に伴い、保護者の参加があり公民館活動の有用性をアピールできた。 ②募集のまずさか、満足度は高かったが参加者数が少なかった。 ③仕事も持って日中に参加できない方がゆったりとした気持ちで参加することができる。 ④受講生も講師もゆったりとしたペースで教え学びあうことができた。 ⑤学校の全校児童にチラシを配ったりしたため問い合わせが多かった。 ⑥講師も受講した児童・保護者もいい雰囲気の中で実施されたこと。 ⑦料理講座だったが栄養面や生活習慣病など絡めて話をして頂き、皆納得して聴き入っていた。
①超低学年の参加が多く、内容の再考が必要。 ②男性自身ではなくその連れ合いの方などをターゲットに広報に力を入れる必要がある。 ③平日の夜にも行える内容を考えていかなければならない。 ④特になし。 ⑤忙しい学校へのチラシ配布は何回も頼めない。 ⑥人数が増えると大学生等のサポートが必要となる。⑦講師も乗って頂き、少しでも理解が深まってくるのではないかとと思われる。
いろいろな取組みを行ってきたが、大きな反響や成果が上がったわけではないが確かな手ごたえは感じる事ができた。若い子育て世代をターゲットにし、「公民館に慣れ親しむ」環境はとても大事に思える。今後も続けて生きたい。ただ、期待している団塊の世代の方が公民館に来られているのか余り感じないでいる。生涯学習を進める上でこの世代をどう取り込んでいくかが今後の課題である。

北区

	北部公民館	植木公民館
ア ク シ ヨ ン 年 度 ラ ン	① 「よかった講座報告集」を参考にして、学校や自治会との連携、地域のボランティア団体と連携した講座を計画し実施する。 ② 土・日の各部屋の稼働率を上げるために、講座の内容や夜間講座を開設する等、実施講座を工夫していく。 ③ 20歳代～50歳代の方々も参加しやすいように、講座の内容、実施曜日、時間帯等を工夫し実施する。	(若い世代(20歳代～40歳代)や男性の参加を増やす手立て) ・現代課題やニーズに合った講座の充実。 ・平日夜間や土日祝に行う講座数を増やす。 ・男性限定の講座を実施する。 ・親子や家族で参加できる講座の充実。 ・子ども講座を増やすことで、その保護者にも公民館への関心を持ってもらう。 (自治会・地域公民館・NPO等の地域活動団体との連携) ・市民企画講座やおでかけ公民館の活用促進を図る。
2 7 年 度 実 際 に 取 り 組	① 主催講座「ほくぶキッズ遊学塾」で、地元ボランティアの会「ふるさと会」の方々の協力のもと、竹とんぼ作り等を行った。また、いもの苗植え及びいもほりでは、西里校区万楽寺の自治会の方々の協力を得て、スムーズに楽しく行えた。 学校との連携では、西里小学校と先生方も多数参加し「星の観望会」を開くことができた。 ② 働いている世代が参加できるよう講演会を日曜日の午前中に実施、また、土曜日の夜間に自主講座「腰痛肩こりストレッチ体操」を設けた。 ③ 20歳代～50歳代の方々も参加しやすいように「国際結婚やフェアトレード」をテーマにした講演会を日曜日の午前中に実施した。	①市民企画講座募集への広報等の働きかけを行った。 ②平日夜間や土日祝に実施の講座数を増やすと同時に講座内容の工夫を行った。 ③男性限定の講座として男性料理教室を実施した。 ④親子や家族で参加できる講座数を増やした。 ⑤子ども講座数を増やした。 ⑥自治会や自治協議会等でのおでかけ公民館講座の周知や広報を行い、NPOとの連携した講座企画の検討も行った。
取 り 組 み の 成 果	① 主催講座「ほくぶキッズ遊学塾」で、地元ボランティアの会「ふるさと会」の方々の協力のもと、竹とんぼ作り等を行ったが、竹とんぼ作りを通して、地元の方々との交流ができてとてもよかった。 また、いもの苗植え及びいもほりでは、西里校区万楽寺の自治会の方々の協力を得てスムーズに楽しく行えた。昼食では、一緒にだご汁やおにぎり、取れたものいもの天ぷらを食べながら楽しく交流できた。 ② 働いている世代が参加しやすいように土曜日の夜間に日頃の運動不足やストレスを発散できるような内容の講座(自主講座)を年間を通して行えた。 ③ 参加した多くの方々に「国際結婚やフェアトレード」について、現状等いろいろなことを教えていただき、とてもいい問題提起を含んだ講座となった。	①NPO法人と連携した市民企画講座を実施することが出来た。 ②平日夜間に行った健康をテーマにした講座は2講座とも定員を大きく上回る申込があり、土曜日に実施した「オリーブ石鹸づくり」は30歳代の方が半数近くの参加があった。 ③男性料理教室は参加申込者は少なかったが参加者からは次年度以降も続けてもらいたいとの要望があった。 ④講座を増やすことで多くの親子、家族での参加数が増えた。 ⑤講座数も増やしたが、出来るだけ保護者の見学も出来るようにすることで家族で参加しているような雰囲気が出来て良かった。 ⑥昨年よりおでかけ公民館の件数が増えた。子ども対象に体験講座の企画をNPO法人と共同で行い実施することが出来た。
課 題	① 主催講座「ほくぶキッズ遊学塾」を中心に自治会や地元ボランティアの会の方々との交流が年々増えてきていいことであるが、その分、ボランティアの方々への負担も増えてきている。 ボランティアの方々の数を増やす工夫や公民館側でできることの整理等、もっと計画的にやっていきたい。 学校との連携では、北部地区の3小学校と1中学校すべての学校で連携した取組ができるように工夫していきたい。 ② 働いている世代が参加しやすいように土曜日の夜間に日頃の運動不足やストレスを発散できるような内容の講座(自主講座)を年間を通して行えたが、狙いの若い世代の参加が少なかった。これから次年度の募集に入るが、広報の仕方等を工夫して、もっと仕事をしている若い世代が参加できるようにしていきたい。 ③ 20歳代～50歳代の方々を狙ったが、余り多くの参加を得ることができなかった。取り組み自体は、いいと思うので、広報の仕方等、さらに工夫していきたい。	①現代課題やニーズに合った講座の充実ということで市民企画講座の周知等に力をいれたが結果は1講座しか出来なかった。 ②特になし。 ③男性本人が申込むには抵抗があるようなので、その家族等への働き掛けが必要である。 ④いろいろな講座を企画すること。 ⑤どうしても田底小や吉松小学校区の子どもの参加が少ないので増やせる手立てを考えること。 ⑥おでかけ公民館以外での地域との連携。
2 課 7 題 年 ・ 度 方 ま 向 と 性 め な ・ ど 今 後 の	① ボランティアの方々への負担軽減。そのために、新たなボランティア団体等の発掘及び公民館側でできることの整理等。 また、北部地区にある3小学校、1中学校、すべての学校で連携した取り組みができるよう、環境等の整備、お互いに無理しない企画を提案していきたい。 ② 働いている世代や若い世代が参加しやすいように広報の仕方等を工夫する。 ③ フェアトレードについては、これからも、食や文化等、いろいろな側面から取組を進めていきたい。 また、もっと20歳代～50歳代の方々にも参加していただけるように広報の仕方等の工夫をおこなっていきたい。	○平日夜間、土日祝に講座を行うことや子ども講座を増やすことで若い世代の方が多く公民館へ来られるようになったので、引き続き行っていきたい。 ○男性の講座参加も少しずつは増えてきているので、今後も限定の講座を企画するなどの手立てを考えて行きたい。 ○自治会等で行っている行事やこれから企画を考えている自治会等と協議して公民館とタイアップ出来るような企画を考えて行きたい。
そ の 他	・広報の仕方や講座の中身等、どうもマンネリ化が進んでいるので、いろいろな勉強の機会を設けて、私自身、見識を広げ、それが講座企画等に反映していくるように努力していきたいです。	

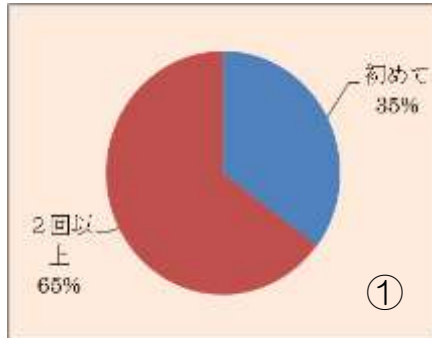
男性向け講座

- 中央公民館・・・「男性料理（年2シリーズ）」「パワーポイント入門（夜）」
「初めてのロックバンド」「バンドで歌うグループサウンズ」
- 大江公民館・・・「男のスタミナ料理」「魚のさばき方」
「男性だけの料理教室『男の厨房』」
- 五福公民館・・・「そば打ち体験」「パピピクス」
- 東部公民館・・・「男の料理 お酒のおつまみ3品」
- 託麻公民館・・・「新しい趣味に挑戦やさしいマジック教室」
「ほかでは教えない一眼レフ講座」「初めての男性料理教室」
「自分でできる包丁とぎ」「魚のさばき方教室」
「人物郷土史 加藤清正の治政」「託麻三山散策マップ巡り」
「歴史発掘！熊本市と託麻の遺跡」「なぜなに 郷土史」
「地名で読み解く託麻の地形と歴史」
「戦後70年 熊本市東部の戦争遺産の光と影」
- 秋津公民館・・・「珈琲教室（ペーパードリッパ編）」
「横井」楠～幕末に生きた知の巨人は秋津でどんな生活を送っていたのか」
「高杉晋作が見た上海、現代の上海」
「グリーティング講座を作ろう」「肥後象嵌の制作体験」
- 西部公民館・・・「すぐに役立つパソコン基礎講座」「人物郷土史」
「海外ロングステイセミナー」「山歩き入門」
- 花園公民館・・・「高齢者男性料理教室」
- 河内公民館・・・「上達の近道！プロに学ぶゴルフ教室」
「おでかけ公民館（男の料理教室）」「ロープワーク」
- 南部公民館・・・「男のおもてなし料理講座」
- 幸田公民館・・・「ステップアップ手話」「トラベル英会話」「iPad 講座」
「エクセルパソコン講座」
- 飽田公民館・・・「デジタルカメラ撮影講座」
- 天明公民館・・・「Wordで写真入りカード作成」
- 富合公民館・・・「タブレットPCでワード2013入門」「マジック入門」
- 城南公民館・・・「パソコン講座（全6講座）」「包丁の研ぎ方入門」
「はじめての囲碁・将棋」「デジタル一眼レフ基本講座」
「母の日のための親（父）子クッキング」「魚のさばき方」
- 龍田公民館・・・「手打ちそば教室」「エクセルの基礎」
- 清水公民館・・・「できれば大人気マジック講座」
- 北部公民館・・・「男の家庭料理」（自主講座）
- 植木公民館・・・「男性料理入門」

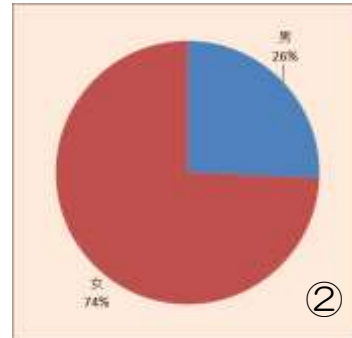
子育て世代向け講座

- 中央公民館・・・「すくすくあそび」「ファーストサイン（年2シリーズ）」
「ベビーマミー（年3種×2シリーズ）」「人形劇」「親子陶芸」
「ファミリーエコクッキング」
- 大江公民館・・・「親子チアダンス」「親子タブレット講座（夏・冬）」
「親子で活けるクリスマス花」
- 五福公民館・・・「テンススタイルヨガ」
- 東部公民館・・・「ベビーマミー」「ベビーマッサージ」「親子茶道」「親子和装礼法」
「親子で江津湖の生き物探し」「バードウォッチング」
- 託麻公民館・・・「賢くなる！したくなる！デキル片づけ親子教室」
「親子米粉もちもちピッツア」「親子キャラクターパン作り」
「ママとベビーマミーのヨガ」
「親子で学ぼう！ワクワクお小遣いゲーム」「生け花体験（親子可）」
「小中学生茶道教室（親子可）」「親子そばうち教室」
- 秋津公民館・・・「あかちゃんとお母さんのリラックスヨガ」「ぐれっちの紙芝居」
- 西部公民館・・・「骨盤調整！ベビー・マミーヨガ」「ベビー＆マミービクス」
「ファミリービクス」「親子ピラティス・ヨガ」
「消しゴムはんことオリジナルハンカチを作ろう」
「親子でフラダンス」「親子クリスマスケーキづくり」
「親子職業体験・社会科見学ツアー」
- 花園公民館・・・「ベビーマミー（年3種うち1種はシリーズ）」
「ベビーオイルマッサージ（年2シリーズ）」
- 河内公民館・・・「親子タケノコ掘り体験」「今が旬！おいしさ満喫ツアーIN 河内」
「端午の節句～柏餅を作ろう！～」
「親子料理教室～夏野菜カレー作り～」
- 南部公民館・・・「ベビー＆マミービクス1・2・3」「親子音楽遊び」「人形劇」
「親子パンお菓子作り講座」「親子クリスマスケーキ作り講座」
- 幸田公民館・・・「キッズiPad～親子で～」・「健康学びの教室」
- 飽田公民館・・・「ベビー＆マミービクス」「子ども生け花」「子どもひょっこり踊り」
「子ども太鼓」「親子ケーキづくり」「キッズそろばん教室」
「科学実験講座」
- 天明公民館・・・「親子でわくわくクッキング」
- 富合公民館・・・「ママが主役！ママヨガ」「子どもが喜ぶ！米粉の料理」
- 城南公民館・・・「子どもの日のためのクッキング」
「赤ちゃんのスキンケアとマッサージ」
「親子タブレット」「わらべうたベビーマッサージ」
「読み聞かせ絵本講座」「親子クリスマスケーキづくり」
- 龍田公民館・・・「親子DEクッキング」
- 清水公民館・・・「親子ふれあい元気体操」
- 北部公民館・・・「家庭教育学級「くまもと親の学びプログラム」
- 植木公民館・・・「ベビー＆マミービクス①・②」「親子でビーズアクセサリ」
「家族でリフレッシュ！ニュースポーツ」

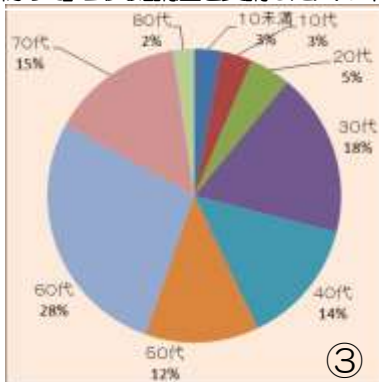
公民館主催講座受講回数（H27 年度）



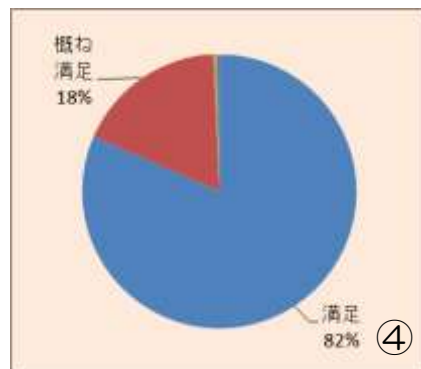
「初めて」公民館講座を受講した人の性別



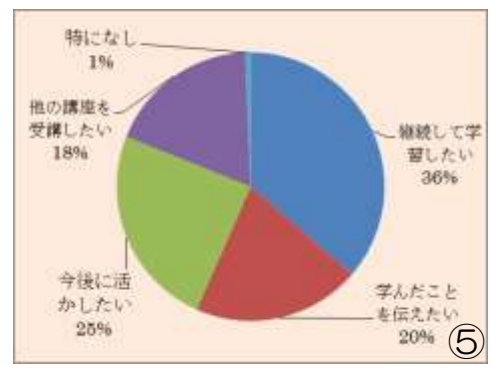
「初めて」公民館講座を受講した人の年代



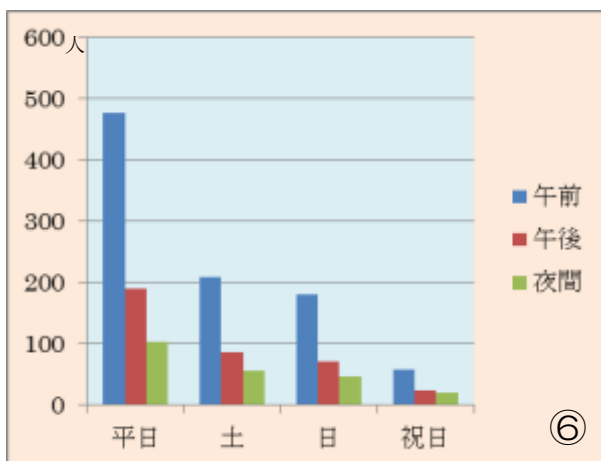
「初めて」公民館講座を受講した人の満足度



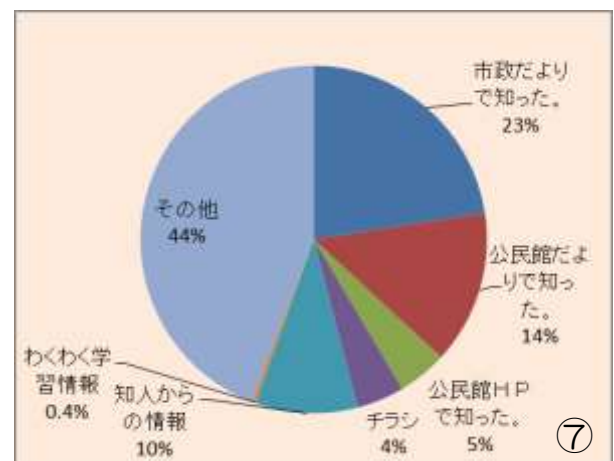
「初めて」公民館講座を受講した人の受講後の意識



「初めて」公民館講座を受講した人の希望する時間帯



「初めて」公民館講座を受講した人のきっかけ



※考察

①、③、⑥のグラフに表れている実態はこれまでと大きく変わらない。初めて公民館講座を受講した男女別の割合において、男性はグラフ②の通り（前年度 20%）6ポイントの増加が見られた。なお、グラフ①においては、参加の意思がありながらも参加できなかった人の数は含んでいない。あらゆる世代を対象としながらも、対象とする世代や性別を明確にし、講座を充実させることが更なる生涯学習の振興及び啓発につながると考えられる。また、グラフ④や⑤のとおり、公民館講座の質は高いものがあり、生涯学習のきっかけに十分なり得ていると考えられる。⑦からは、市政だよりや公民館だよりからの情報が多いのはこれまで通りであるが、知人からの情報により参加している人が 10%いて、口コミの影響力もあると認識した。

男性向け講座



「手品講座」



「ゴルフ講座」



「パソコン講座」



「料理教室」



「パパビクス」



「歴史講座」

子育て世代向け講座



「ベビー&マミービクス」



「テンススタイルヨガ」



「江津湖の生き物探し」



「親子料理教室」



「親子ビーズ作り」



「科学実験講座」

重点事業項目（２）家庭教育支援の充実

★家庭教育学級の充実

- ◎家庭教育学級増に向けた小中学校との連携促進
- ◎家庭教育学級の内容充実
- ◎家庭教育学級受講者への積極的支援

★学校・地域諸団体・その他（NPO 等）との連携協力

- ◎保護者が集まる場への積極的参加
- ◎学校・地域への連携促進
- ◎地域諸団体・その他（NPO 等）との連携促進

★家庭教育支援者の育成と活用

- ◎養成講座の充実
- ◎講座修了生の登録と活用、及び活かす場の設定



平成28年2月12日（金）

1 家庭教育学級の充実

(1) 家庭教育学級増に向けた小中学校との連携促進

平成27年度の熊本市全体での家庭教育学級数は、前年度比 2増2減で現状維持であった。しかし、これまで学級のなかった富合公民館では、学校への啓発活動が実り、富合小・富合中で新規開設となった。

他公民館でも、一昨年から「PTA総会・就学時健康診断」において、入級案内配布等の啓発活動を行い、学級開設（継続）に努めることができた。



★H26 年度～H27 年度 学級数及び学級生の推移★

区名		中央区			東 区			西 区			南 区						北 区				計
公民館名		中央	大江	五福	東部	託麻	秋津	西部	花園	河内	南部	幸田	鮑田	天明	富合	城南	龍田	清水	北部	植木	
H26年度	学級数	4	8	6	10	9	6	8	3	2	3	4	4	5	0	0	4	4	4	0	84
	在籍者数	285	196	150	265	195	97	217	54	104	72	78	125	162	0	0	106	85	54	0	2,245
H27年度	学級数	4	8	5	10	9	6	7	3	2	3	4	4	5	2	0	4	4	4	0	84
	在籍者数	140	205	99	229	193	92	227	54	136	73	95	141	139	46	0	89	87	46	0	2,091

H27年度 開設学級		中央	大江	五福	東部	託麻	秋津	西部	花園	河内	南部	幸田	鮑田	天明	富合	城南	龍田	清水	北部	植木	計
		碩台幼		熊本五福幼				古町幼													3
小学校	幼稚園																				67
	壺川小	白川小		健軍小	託麻東小	秋津小	城山小	花園小	河内小	力合小	御幸小	鮑田東小	中緑小	富合小			龍田小	清水小	川上小		
	城東小	大江小	一新小	泉ヶ丘小	託麻西小	桜木小	高橋小	城西小		日吉東小	田迎小	鮑田西小	銭塘小				楠小	城北小	西里小		
	黒髪小	出水小	五福小	尾ノ上小	託麻南小	桜木東小	池上小	池田小	芳野小	力合西小	田迎西小	鮑田南小	奥古閑小				武蔵小	麻生田小	北部東小		
		出水南小	向山小	東町小	託麻北小	若葉小	小島小	(小中合同)					川口小				楡木小				
		砂取小	春竹小	月出小	長嶺小		中島小														
		帯山小		健軍東小	西原小		春日小														
		帯山西小		山ノ内小																	
				画図小																	
中学校		出水南中		錦ヶ丘中	西原中	桜木中					託麻中	鮑田中	天明中	富合中			清水中	北部中			14
				湖東中	長嶺中	東野中															
					東部中																

(2) 家庭教育学級の内容充実

各公民館で、特色のある講座（学級）を開設した。学級生のニーズや子育てに関する課題等を取り上げ、内容の充実を図ることができた。【P28～35 家庭教育学級学習内容一覧】



(3) 家庭教育学級受講者への積極的支援

- ① 受講者の事務処理（提出書類等）の軽減を図り、学習に専念できる環境作りに努めた。
- ② 職員が講座へ積極的に参加し、受講生とのコミュニケーションを図った。



2 学校・地域諸団体・その他（NPO 等）との連携協力

(1) 保護者が集まる場への積極的参加

地域の行事（子ども会・どんどや等）へ積極的に出向くことで、子育て中の保護者の方の要望や悩みを聞くことができた。会話の中から保護者のニーズを把握し、講座・講演会を企画することができた。また、各区ごとに開催しているフェスタ等でも、家庭教育支援に関するコーナーを設置し啓発活動に努めた。



(2) 学校・地域への連携促進

昨年度に引き続き、学校と連携し「子育て講演会」やくまもと「親の学び」プログラム等を開催することができた。

くまもと「親の学び」プログラムについては、各小・中学校及び幼稚園で開催することができた。

【主な開催場所】

壺川小：城東小：黒髪小：白川小：一新小：五福小：画図小：東町小：健軍東小：尾ノ上小：秋津小：託麻東小：龍田小：城山小：城西中：河内小：花園小：富合小：富合中御幸小：田迎小：田迎西小：託麻中：力合小：中緑小：清水小：川上小：碩台幼稚園：熊本五福幼稚園：古町幼稚園 等



(3) 地域諸団体、その他（NPO 等）との連携促進

地域の方々や NPO 等と協力しながら、家庭教育支援に関する講座・講演会を企画・実施することができた。

【主な実施例】

- ① 子育てサークルや民生委員の方と連携協力した例
 - ・「ベビーアロママッサージ」（幼児・保護者対象）
 - ・「音楽療法」（幼児・保護者対象）
- ② 町 PTA・婦人会・NPO と連携協力した例
 - ・「スマホ・ケータイの安心安全な使い方」（幼・小・中保護者及び学校職員対象）



- ・「夏の思い出ワークショップ」（小学生の保護者対象）
 - ・「おはなしボランティア～おはなし会～」(小学生の保護者対象)
- 特に、民生委員の方は子育ての先輩として、子育て中の保護者の悩み相談等で活躍していただいた。



3 家庭教育支援者の養成と活用

(1) 養成講座の充実

生涯学習推進課では、昨年度同様「くまもと『親の学び』プログラムをマスター～あなたの力が子どもを変える～」と題して全10回シリーズで養成講座を開催した。ファシリテーションの基礎から実践、ゲーム・インターネットとのつきあい方、地域全体での子育てなどをテーマに取り上げた。市の中心部の中央公民館で、参加者の仕事の都合等を考慮し、開催時間は夜間（午後7～9時）とした。



講師には、熊本市教育委員会 学校教育支援アドバイザー（前 熊本市教育次長） 杉原哲郎さん、内閣府地域活性化伝道師 三角幸三さん、御船町教育長 本田恵典さん、熊本県警察 北警察署 生活安全課 草原浩志さん、開業助産師・食の健康実践家 村上恵理さんらを招聘した。内容は、「くまもと『親の学び』プログラムをマスター」というテーマの通り、講義とグループワークを組み合わせせた講座とし、中盤からは、受講生自身がグループワーク等の進行役を務めることで、より実践的な研修となるよう努めた。また、希望者向けに、学校や幼稚園で実施されている くまもと「親の学び」プログラムを見学する機会を確保し、進行役としてのノウハウを学べる内容とした。

【P36・37 平成27年度家庭教育地域リーダー養成講座チラシ】

(2) 講座修了生の登録と活用、及び活かす場の設定

養成講座全講座終了後、家庭教育地域リーダーとして登録するだけでなく、ステップアップ研修（今年度からの新規事業）として、平成22～27年度までの修了生を集め、講演会やくまもと「親の学び」プログラムの実践・見学等を実施し、各リーダーのスキルアップを行うとともに、新たな進行役の掘り起こしを行った。現在は熊本市家庭教育支援事業（家庭教育セミナー等）で、各学校・公民館等を会場に実施するくまもと「親の学び」プログラムをはじめ、市職員対象の研修会のファシリテーターとしても活躍している。



4 成果と今後の課題及び来年度の方向性

家庭教育学級については、学級数・学級生増加も大切であるが、内容の充実と地域人材活用及び諸団体との連携にも重点を置き取り組んでいきたい。また、生涯学習推進課が取り組んでいる家庭教育地域リーダー養成講座を継続し、支援者養成にも力を入れていくようにする。

別 紙 資 料

【資料①】 平成27年度熊本市家庭教育学級 学習内容一覧

【資料②】 平成27年度家庭教育地域リーダー養成講座チラシ



平成27年度 家庭教育学級 学習内容一覧

公民館	学習内容	対象	講 師
中央	開級式および講話	親	園長先生
中央	小物作りと親子のふれあい遊び	親子	岡田 富子 先生(教育支援プロジェクト・マスターズ熊本)
中央	写真教室～デジカメで子どもをかわいく撮る方法～	親	伊藤 建太郎 先生(伊藤写真事務所代表)
中央	都市バス営業所見学	親子	都市バス上熊本営業所職員の方
中央	くまもと「親の学び」プログラム(壺川小)	親	中山 久美 先生(家庭教育地域リーダー)
中央	農業体験(年4回)※講座生が参加費を実費負担	親子	古家 公晴 先生(八三会事務局)
中央	アロマテラピー教室	親	武蔵 いづみ 先生(メディカルハーブコーディネーター)
中央	親子パン教室	親子	平田 智恵子 先生(パン教室講師)
中央	手作り味噌教室	親	塩津 弘美 先生(味噌醸造技能士)
中央	ヨガ教室	親	福成 玲子 先生(ヨガサークルKACO主宰)
中央	くまもと「親の学び」プログラム(城東小)	親	中山 久美 先生(家庭教育地域リーダー)
中央	グラノーラ作り	親	福原 智子 先生(家庭教育学級長)
中央	骨盤体操教室	親	菅田 ゆみ 先生(フィットセラピーインストラクター)
中央	桜山中学校見学及び給食試食会	親	校長先生
中央	食品サンプル作り体験	親子	橋本 圭三 先生(有限会社日本美術)
中央	くまもと「親の学び」プログラム(黒髪小)	親	中央公民館 社会教育主事
中央	親子陶芸	親子	馬場 和子 先生(和み窯講師)
中央	寄せ植え教室	親	後藤 公介 先生(ナーセリーズ店長)
中央	片付けと掃除の仕方	親子	北野 宏美 先生(整理収納アドバイザー)
中央	陶芸体験	親	小島 康子 先生
中央	親子ヨガ	親子	平田 明美 先生
中央	私はあなたのために何ができるでしょうか(講演)	親	新本 高志 先生(ケーキ職人)
中央	編み物教室	親	松坂 由美 先生(編み物講師)
中央	クリスマスリース教室	親	当房 ゆの 先生(フラワーアレンジメント講師)
中央	くまもと「親の学び」プログラム(黒髪小)2回目	親	高野 真理子 先生(家庭教育地域リーダー)
中央	美文字講座	親	後生川 知美 先生(日本習字教育財団講師)
中央	バランスのよい食事	親	布田 君代 先生(食生活推進委員)
中央	茶道教室	親	谷島 恵理子 先生
中央	親の心構え・家庭教育の大切さ	親	池田 洋子 先生(わらべ保育園園長)
中央	くまもと「親の学び」プログラム(碩台幼稚園)	親	中山 久美 先生(家庭教育地域リーダー)
中央	キムチ作り	親	渡部 幸子 先生(Atelier Moliere主宰)
中央	抹茶体験	親	酒井 紘子 先生(表千家教授)
大江	親の学びプログラム	親	高木 徳文 先生(家庭教育地域リーダー)
大江	講演「セラピーホース作りで学んだ子育て」	親	梅木 康裕 先生
大江	骨盤エクササイズ	親	枝尾 妃見子 先生
大江	JA熊本果実連工場見学	親	JA熊本果実連工場職員の方
大江	日本銀行熊本支店見学	親	坂井 美奈子 先生
大江	手ごねパン教室&昼食会	親	重久 志鶴 先生
大江	講演「ネット社会における子どもたちの現状と親の役割」	親	松川 由美 先生
大江	夏に活躍するアロマテラピー	親	古閑 由美 先生
大江	パン教室	親	丸田 孝子 先生
大江	日本料理テーブルマナー講習	親	矢島 洋介 先生
大江	熊本空港見学	親子	島崎 先生
大江	防災体験学習	親子	坂本 裕美子 先生・駒沢 直美 先生
大江	いのちの誕生学	親子	甲斐 由香 先生
大江	サントリー熊本工場見学	親子	島野 先生
大江	ウォーキング教室	親	川津 登志枝 先生
大江	フラダンス教室	親	吉村 理恵 先生

大江	夏休み親子ピザ教室	親子	丸田 孝子 先生
大江	夏休み親子味噌作り教室	親子	塩津 美智子 先生
大江	ポーセラーツ	親	今村 育子 先生
大江	ウォーキング教室	親	川津 登志枝 先生
大江	ピラティス	親	伊藤 敏一 先生
大江	カラーセラピー	親	水野 志織 先生
大江	西部ガスについての講話とガスを使ったお手軽料理実習	親	松村 竜臣 先生
大江	すこやか食生活改善講習会	親	藤田 路子 先生
大江	マクロビ調理教室	親	高木 瑞代 先生
大江	熊本城見学	親	くまもとよかとこ案内人の会の方
大江	スタイルエクサ+K	親	内濱 ユミ 先生
大江	食育学習会	親	狭間 直美 先生
大江	プリザーブドフラワーアレンジ	親	下村 慶子 先生
大江	ライフオーガナイズ講座	親	詫摩 美由紀 先生
大江	エコクラフト講座	親	近藤 真理子 先生
大江	講演「子ども心を育てるということ」	親	岡崎 光洋 先生
大江	クリスマスリース作り	親	小松 ルミ 先生
大江	寄せ植え体験	親	切鼻 将晴 先生
大江	いきなり団子作り	親	福永 智恵子 先生
大江	ミニ門松作り	親	斎藤 多恵 先生
大江	アロマクリーム作り	親	吉川 久美子 先生
大江	たまねぎ染め	親	竹尾 美由紀 先生
大江	メキシコ料理実習	親	大堂 エベリン 先生
大江	ダンスエクササイズ	親	梅野 泰子 先生
大江	親子トランポリン教室	親子	松本 美華 先生・高見 美希 先生
大江	ヨガ	親	迫口 裕見子 先生
大江	家計簿のつけ方	親	佐藤 香奈 先生
大江	ペップトーク	親	高野 聡 先生
大江	食育講座「子どもに必要な栄養と手作りおやつ」	親	川原 智子 先生
五福	心肺蘇生法	親	熊本市西消防署救急救命士の方
五福	手作りマスク	親	宮田 あんり 先生
五福	陶芸教室	親	馬場 和子 先生
五福	座禅・写経	親	西福寺・吉田住職
五福	米粉パンづくり	親子	河元 弘美 先生
五福	フラワーアレンジ	親	斉藤 政子 先生
五福	陶芸教室	親	ローゼン三早枝 先生
五福	料理教室	親	反後 いづみ 先生
五福	世界の料理教室	親	セルジオ・ヴァッカ 先生
五福	骨盤体操	親	辻 陽子 先生
五福	親の学びプログラム	親	五福公民館 社会教育主事
五福	クリスマスリース	親	河元 弘美 先生
東部	開級式・親の学びプログラム・校内探検	親	東部公民館 社会教育主事
東部	ポーセラーツ	親	今村 育子 先生
東部	親子パン作り教室	親子	学級生の方
東部	ピラティス体験と筋力トレーニング	親	伊藤 敏一 先生
東部	再春館製薬所見学	親	広報担当者の方
東部	子育てコーチング	親	織方 剛 先生(ブリッジ コミュニケーション アカデミー)
東部	デコ巻き寿司	親	早田 雅美 先生
東部	味噌作り	親	塩津 弘美 先生
東部	おこづかい教室	親	ジブラルタ生命おこづかい教室担当の方
東部	お菓子の香梅工場見学	親	見学担当者の方

東部	発達障がいについて	親	尾道 幸子 先生・小島 蘭子 先生
東部	親子で食品サンプル作り	親子	日本美術サンプル営業所の方
東部	第81回東光展 見学会	親	東光会熊本支部会の方
東部	スクラップブック作り	親	後藤 初美 先生
東部	ピラティス&おためしスンバ体験	親	中山 雅江 先生
東部	木工教室	親	橋本 先生
東部	ダンボールコンポストを作ろう	親	ごみ減量推進課 (講師 熊本県有機農業研究会副理事長) (間 澄子 先生)
東部	リボンゴム・ヘアピンコースター作り	親	八十川 麻実 先生
東部	親子クリスマスリース	親子	小田 俊子 先生
東部	消しゴム判子作り	親	伊藤 浩子 先生
東部	講話・給食試食会	親	教頭先生
東部	パーソナルカラーセラピー	親	村田 久美子 先生
東部	親子でピザ作り	親子	カントリーパーク担当者の方
東部	アロマスプレー作り&アロママッサージ	親	益田 理恵 先生
東部	クリスマスリース講習会	親	安達 桂子 先生
東部	味噌作り	親	塩津 弘美 先生
東部	親の学び教室	親	東部公民館 社会教育主事
東部	思春期の心と身体の発達	親	心のサポート相談員の方
東部	いきなり団子作り	親	高木 先生(代表取締役)・指導 野間 先生
東部	発達障害の子どもたちとその支援について	親	板見 陽子 先生
東部	親子陶芸教室	親子	林原 あさ 先生
東部	JA熊本ジュシー工場見学	親子	JA果実連業務課の方
東部	サントリービール工場見学	親	案内担当者の方
東部	食農塾「みんな(親子)で楽しくピザ焼き体験」	親子	カントリーパーク担当者の方
東部	手作り味噌づくりと塩麴料理	親	塩津 美智子 先生・塩津 弘美 先生
東部	X'masフラワーアレンジ教室	親	齊藤 政子 先生
東部	防災センター見学	親	見学担当者の方
東部	美肌ストレッチ！顔ヨガ	親	松本 美由紀 先生
東部	食を考える「夏休み前に夏に負けない献立とレシピの学習」	親	学級生の方
東部	すこやか食生活改善講習	親	食生活改善推進員の方
東部	樹脂粘土でお正月飾り(さるの置物)	親	川俣 京子 先生
東部	座談会と給食試食会	親	校長先生
東部	廃油石けんづくり	親	学級生の方
東部	ゴスペルコンサートとワークショップ	親	島田 尚美 先生(Joymama.com代表)
東部	パーソナルカラー講習会	親	IACC国際カラーコンサルタントの方
東部	リース作り	親	小田 俊子 先生
東部	ピラティス	親	高田 栄子 先生
東部	スクールカウンセラー講話	親	臨床心理士・スクールカウンセラーの方
東部	講話	親	校長先生
東部	トランポリン体験講座	親	松本 美華 先生
東部	リンパマッサージ講習	親	山本 智恵子 先生
東部	防災実習	親	防災教育指導員の方
東部	和菓子作り	親	北川 和喜 先生(開懷世利六菓匠)
東部	川尻散策	親	くまもと工芸会館ボランティアガイドの方
東部	東海宇宙センター見学	親	見学担当者の方
東部	ジェーンズの教育に学ぶ子育て～ジェーンズ邸の歴史から～	親	黒田 孔太郎 先生
託麻	講話「夏休みの自由研究について」「西原小50周年の歴史」	親	校長先生
託麻	講話「親と子の関わり方」(託麻西小)	親	校長先生
託麻	講話「出会いを楽しみ、人生を豊かに」(託麻南小)	親	校長先生
託麻	講話「思春期の子育てについて」(東部中)	親	校長先生

託麻	講話『子育てに役立つかもしれない先人の言葉』(長嶺中)	親	校長先生
託麻	講話「家庭の中にはワクワクする言葉がたくさんありますよ！」(託麻北小)	親	校長先生
託麻	講話「子育てについて」(西原中)	親	校長先生
託麻	講話「思春期の親と子のあり方」(託麻東小)	親	教頭先生
託麻	講話「名前の由来について」(長嶺小)	親	教頭先生
託麻	サントリービール工場見学	親子	サントリービール工場職員の方
託麻	サントリービール工場見学	親	サントリービール工場職員の方
託麻	ピザ・バームクーヘン作り体験	親子	カントリーパーク職員の方
託麻	大人のための読み聞かせ	親	大山 広美 先生(おはなしボランティア)
託麻	消防署見学・災害体験	親子	消防署職員の方
託麻	講話(西原中)	親	校長先生
託麻	ストレッチヨガ体験	親	岩本 和美 先生(ヨガ講師)
託麻	味噌作り体験	親	池田屋醸造の方
託麻	味噌作り体験	親子	池田屋醸造の方
託麻	味噌作り体験	親	山内味噌醤油本店の方
託麻	陶芸教室	親	馬場 和子 先生(和み窯)
託麻	熊本城見学ツアー	親子	熊本城職員の方
託麻	デコパージュでバッグ作り	親	小林 香 先生(デコパージュ講師)
託麻	夜の動物園見学	親子	動物園職員の方
託麻	阿蘇くまもと空港・YS-11機見学	親子	阿蘇くまもと空港職員の方
託麻	親子トランポリン教室	親子	熊本トランポリンクラブ長嶺教室の方
託麻	テーブルマナーを学ぶ	親	永濱 哲也 先生(ホテルニューオータニ熊本)
託麻	ランチdeテーブルマナー	親	宮本 健真 先生(レストランテ・ミヤモト)
託麻	秋のフラワーアレンジメント	親	杉山 由喜子 先生(フラワーデザイナー)
託麻	思春期講座	親	赤木 夏代 先生(助産師)
託麻	進路指導講話	親	西原中 先生
託麻	進路指導講話	親	長嶺中 先生
託麻	日本銀行見学	親	日本銀行の職員の方
託麻	再春館製薬所見学	親	再春館製薬所の職員の方
託麻	保健室の先生のお話	親	西原小 先生
託麻	クリスマスの寄せ植え教室	親	小田 敏子 先生(T' GARDEN)
託麻	世界の料理と異文化交流(中国・水餃子)	親	朱 玉梅 先生
託麻	世界の料理と異文化交流(スリランカ)	親	テンナコーンゲ・ルワニ・ラクマニ 先生
託麻	熊本城見学ツアー	親子	熊本城職員の方
託麻	テニス体験	親	スターテニススクールコーチ
託麻	クリスマスリース作り	親	杉山 由貴子 先生(フラワーデザイナー)
託麻	フラワーアレンジメント	親	矢嶋 文江 先生(フラワーデザイナー)
託麻	よくわかる電気の省エネ講座	親	九州電力熊本東営業所の方
託麻	ペットボトルキャップ&羊毛フェルトのマグネット作り	親	九州電力熊本東営業所の方
託麻	思春期の子どもを持つ親への性教育	親	赤木 夏代 先生(助産師)
託麻	表情筋トレーニング	親	平井 みはる 先生(ビューティスマイルデザイン講師)
託麻	ピラティス教室	親	渡邊 圭子 先生(ヨガインストラクター)
託麻	サンドアート教室	親	川山 智子 先生(サンドアートインストラクター)
託麻	無添加せっけん作り	親	甲斐 裕規 先生(せっけん工場topi)
託麻	食育講座 in 玉名牧場	親	玉名牧場職員の方
託麻	食育講座	親	水田 貴子 先生(管理栄養士・東区役所保健子ども課)
託麻	リンパを意識したヨガ	親	岩本 和美 先生(ヨガインストラクター・リンパセラピスト)
託麻	現代美術館CAMK探検ツアー	親	現代美術館職員の方
託麻	座禅体験	親	大慈禅寺住職
託麻	家族の健康の為のアロマ&ヨガ	親	上野 智子先生(アロマセラピスト)
託麻	和菓子作り体験	親子	お菓子の香梅の方

託麻	熊本地方裁判所見学	親	熊本地方裁判所職員の方
託麻	飾り巻き寿司作り	親	早田 雅美 先生(料理講師)
秋津	子どもも安心 手作り虫よけスプレーと消臭スプレー作り	親	津田 多美子 先生
秋津	いきなり団子とおはぎ作り	親子	株式会社 一休本舗の方
秋津	ヨガで骨盤調整	親	渡邊 圭子 先生(ヨガインストラクター)
秋津	初めてのパステル画教室	親	坂本 健 先生(尚絅大学准教授)
秋津	多肉植物を使ったコケ玉作り	親	笠 節美 先生(フラワー装飾1級技能士)
秋津	親の学びプログラム 子育て座談会	親	校長先生
秋津	天然素材で手作りせっけん作り	親	水野 天子 先生(せっけんマイスター)
秋津	ハギレを使ってペットボトルケースを作ろう	親	八十川 麻美 先生(ハンドメイド作家)
秋津	合同ワークショップ 算数・数学サロン	親子	熊本大学教育学部数学科の方
秋津	ビーズを使ったアクセサリ作り	親	上田 理恵 先生(アクセサリ作家)
秋津	ドライフラワーとプリザーブドグリーンを使ったクリスマスガーデンアレンジメント	親	齋藤 政子 先生(ドライフラワー作家)
秋津	お正月のしめ縄アレンジメント作り	親	坂本 砂百合 先生(ナチュラルフラワーセラピスト)
秋津	給食の人気メニューを作ってみよう	親	若葉小栄養士の方
秋津	おかわり！が聞きたくて 手作り味噌作り教室	親	塩津 弘美 先生
秋津	バレンタインのお菓子作り教室	親子	津田 多美子 先生
秋津	Let's おひなさまパーティ！ デコ巻を作ろう	親子	そうだまさみ 先生(デコ巻インストラクター)
秋津	親の学びプログラム スマートフォンとの付き合い方	親	秋津公民館 社会教育主事
西部	ピラティス	親	小島 愛 先生(ピラティス講師)
西部	ヨガ教室	親	山中 美紀 先生(ヨガ講師)
西部	アロマ石鹸作り	親子	野田 彩加 先生(アロマ講師)
西部	親子ハンドマッサージ作り	親子	百田 ゆかり 先生(ハンドマッサージ)
西部	親の学びプログラム(乳幼児期編)	親	西部公民館 社会教育主事 山田 裕一 先生(家庭教育地域リーダー)
西部	アロマ虫よけスプレー作り	親	藤本 美穂 先生(アロマ講師)
西部	成長期の栄養簡単料理	親	山下 幸子 先生(医療法人寿量会栄養士)
西部	廃油せっけん作り	親	須佐美 美紀 先生
西部	和太鼓鑑賞会	親子	島田 有紀 先生
西部	陶芸教室	親子	馬場 和子 先生(和み窯オーナー)
西部	手芸教室	親	金澤 美穂 先生
西部	「情報モラルについて」	親	熊本南警察署 生活安全課の方
西部	人気給食レシピクッキング	親子	城山小栄養職員
西部	親子で味噌作り体験	親子	濱田醤油(株)の方
西部	横断歩道の渡り方を園児と保護者一緒に学ぶ	親子	杉本 哲也 先生
西部	大きな大きなバッグ作り	親	坂本 智子 先生(洋裁講師)
西部	手作りスイーツ作り	親	学級生の方
西部	ドレッシング作り、蔵見学	親	濱田醤油(株)の方
西部	クリスマスリース作り	親	向山 ゆかり 先生(Primavera フラワースタylist)
西部	すこやか食改善講習会	親	横田 三恵子 先生(食生活改善推進委員)
西部	電気の省エネ講座	親	九州電力西営業所の方
西部	小物作り(がま口財布)	親	森永 めぐみ 先生
西部	親子お菓子教室	親子	藤本 尚子 先生(栄養士)
西部	デコパージュ講習会	親	坂田 美穂 先生
西部	ピラティス	親	片山 享子 先生(STOTTピラティス国際ライセンス)
西部	簡単パーティーメニュー	親	藤本 尚子 先生(栄養士)
西部	親子クリスマスキャンドル	親子	金澤 美穂 先生
西部	塩分控えめ・無添加のみそ作り	親	池田屋醸造の方
西部	子どものやる気を引き出す魔法の質問	親	正代 孔紀 先生
西部	親子パン作り	親子	藤本 尚子 先生(栄養士)
花園	ソーセージづくり	親	加藤 澄子 先生 (フードパル熊本 ビューライフ職員)

花園	親子料理教室そばづくり	親子	熊本製粉職員の方
花園	親子自衛隊見学	親子	自衛隊健軍駐屯地職員の方
花園	味噌作り体験	親	池田屋醸造合名会社社員の方
花園	魚のさばき方	親	福島 英雄先生・森田 昌子 先生
花園	クリスマスリースづくり	親	プリマヴェーラ 向山 由香里 先生
花園	親子陶芸教室	親子	田口 和代 先生
花園	TKUテレビ熊本施設見学及び番組参加	親子	TKUテレビ熊本編成・製作部社員の方
花園	牛乳パックで紙すき	親	高浜 小波 先生
花園	デコ巻きずし体験	親	西岡 里美 先生
花園	クリスマスリースづくり	親	田尻 裕明 先生
花園	水引アクセサリー作り	親	下田 陽子 先生
花園	ミニ畳づくり	親	株式会社一畳屋社員の方
花園	食育改善調理実習	親	食生活改善推進委員の方
花園	スポーツクライミング	親	飽本 徹 先生(スポーツクライミング)
花園	トールペイント	親	市橋 定子 先生(トールペイント)
花園	電気の省エネ講座	親	九州電力社員の方
花園	ピラティス	親	後藤 栄子 先生
花園	ビーズアクセサリーづくり	親	河瀬 恵利子 先生
花園	骨盤矯正エクササイズ	親	家吉 順子 先生
河内	ドッジビー	親子	横田 真佐子 先生
河内	どんぐりトトロ作り	親子	豊野少年自然の家の方
河内	料理教室	親子	熊本市国際交流振興事業団の方
河内	情報モラル教育	親子	熊本南警察署の方
河内	性教育講演会	親子	スタディライフ熊本の方
河内	PTA教育講演会(親子のコミュニケーション)	親子	吉田 道雄 先生
南部	合同開級式講演会「3男7女の子育て」	親	岸 信子先生(エッセイスト)
南部	開級式講話(力合西小)	親	校長先生
南部	パン料理教室	親	古閑 佳子 先生(料理研究家)
南部	パン作りプチクッキング	親	池島 香織 先生(ホームメイド協会)
南部	開級式講話(力合小)	親	校長先生
南部	サントリービール工場見学	親	サントリービール工場職員の方
南部	アロマクラフト	親	前田 なおみ 先生(アロマセラピーアドバイザー)
南部	ハンドメイド革のペンダント作り	親	馬ノ段 久美子 先生・平野 美穂子 先生
南部	夏休み親子工作	親子	内野 京平 先生(ダイキ本店)
南部	消しゴムはんこ	親	福島 美香 先生(消しゴムはんこ作家)
南部	身体之美メイク(体操)	親	高戸 里美 先生(ピースマイル)
南部	消しゴムはんこ作り	親	中原 智美 先生(消しゴムはんこインストラクター)
南部	校内見学茶話会	親	小学校職員の方
南部	パン教室	親	池島 香織 先生(ホームメイド協会)
南部	濱田醤油見学ドレッシング作り	親	濱田 香織 先生(濱田醤油)
南部	手作り味噌作り	親	池田屋の方
南部	個性心理学	親	横田 久世 先生
南部	クリスマスリース作り	親	平岡 加久子 先生
南部	くまもと恋と美女のご利益めぐり	親	熊本城職員の方
南部	クリスマスリース作り	親	内野 京平 先生(ダイキ本店)
南部	陶芸教室	親	ローゼン三早枝 先生(陶芸家)
幸田	4校合同開級式「お菓子作り」	親	園田 早苗 先生
幸田	4校合同開級式「親の学びプログラム」	親	幸田公民館 社会教育主事
幸田	子育て講演会	親	岡崎 光洋 先生
幸田	塩麴を使った料理教室	親	渡邊 麻美 先生
幸田	海洋生物の学習と干潟の生き物体験観察会	親子	再春館「一本の木財団」の方

幸田	簡単にできるおもてなし料理教室	親	陳 好美 先生
幸田	田迎まちなかWalk & Lunch	親	吉仲 尚美 先生
幸田	味噌作り体験	親	池田屋味噌の方
幸田	正月リース作り教室	親	東田 美保子 先生
幸田	ポーセラーツ教室	親	今村 育子 先生
幸田	リフレクソロジー教室	親	丸山 美緒子 先生
飽田	化石レプリカづくり	親子	淵上 正信 先生(県環境センター)
飽田	中国家庭料理	親子	朱 玉梅 先生(市国際交流事業団)
飽田	親子ヨガ	親子	石田 人美子 先生(ヨーガ禅友会)
飽田	親子パン作り	親子	福山 琴美 先生・平田 智恵子 先生
飽田	子育てに活かすエニアグラム	親	にいみ 裕子 先生(LandingSPACE代表)
飽田	肉まんを作ろう	親子	朱 玉梅 先生(市国際交流事業団) 谷尾 陽子 先生
飽田	プリザードフラワー	親	田口 佐津江 先生(プリザードフラワー講師)
飽田	みそ作り	親	塩津 弘美 先生(池田屋醸造合名会社)
飽田	整理収納から見える子育て	親	北野 宏美 先生(美☆ホーム)
飽田	魚のさばき方	親子	熊本県魚食普及推進協議会の方
天明	心配蘇生法講習会	親	宮家 徹 先生(熊本西消防署)
天明	青少年の非行概況と子ども達の抱える課題	親	豊田 明 先生(青少年育成課)
天明	子育てあれこれ	親	愛甲 三郎 先生(人権サポーター)
天明	育児は育自	親	内田 良介 先生(家族心理士)
天明	情報モラル	親	津田 和範 先生(熊本市教育センター)
天明	心肺蘇生法講習会	親	岩本 先生(消防局飽田天明出張所)
天明	子育て悩んでいます	親	教頭先生
天明	スクールコンサート【心のふるさと川口を未来へつなぐ】	その他	大庭 照子 先生
天明	合同学習交流会【認知症は予防・早期発見が大事】	その他	天寿園 清田隆広 先生
天明	薬物乱用防止教育	親子	熊本南警察署 スクールサポーターの方
天明	給食試食会(給食を食べよう)	親	奥古閑栄養教諭 早田 恵美 先生
天明	体操	親	天寿園インストラクターの方
富合	講演会「家庭教育とは～」	親	島田 ゆき 先生
富合	「フェイスアンチエイジング」	親	平井 みはる 先生
富合	夏休み親子工作「親子で作る！手作り貯金箱」	親子	大木 友美 先生
富合	「シェイプアップ！スリムアップ！」	親	花園 容子 先生
富合	「親子で作る！パーティー料理」	親子	島田 ゆき 先生
富合	「私が知らない保健室」～思春期の心理	親	富合小・中養護教諭
富合	子育てカフェ	親	藤井 宥貴子 先生
龍田	けしごむハンコ作り	親	菊本 里奈 先生
龍田	浴衣着付け教室	親	山口 輝美 先生
龍田	農業公園食農塾ピザ作り体験	親子	農業公園職員の方
龍田	エコクラフト手芸	親	楠小学校あいあい運営委員の方
龍田	みそ作り	親	塩津 弘美 先生(池田屋)
龍田	すこやか料理教室	親	深田 絹江 先生(すこやか食生活改善委員)
龍田	ポーセラーツ	親	吉野 理穂 先生
龍田	アロマ教室	親	古閑 由美 先生
龍田	フィリピン料理教室	親	上田 ジョセフィン 先生(国際交流会館)
龍田	マルキン工場見学	親	木下 正彰 先生(マルキン食品阿蘇工場)
龍田	染物体験教室	親	山口 輝美 先生
龍田	講話	親	校長先生
龍田	ヨガ体験	親	古閑 恵美 先生
龍田	パン教室	親	栗原 房枝 先生
龍田	夏休み親子企画！TKU見学	親子	テレビ熊本総務部会社見学担当の方

龍田	ウィンナー・ソーセージ作り	親	加藤 澄子 先生(株式会社ビューライフ)
龍田	3B体操	親	中村 里美 先生
龍田	多肉植物の寄せ植え教室	親	後藤 公介 先生(ナーセリーズ)
龍田	キムチ作り	親	蔡 鎮淑 先生(国際交流会館)
龍田	フラワーアレンジメント	親	村上 加奈子 先生
龍田	夏休み親子石けん作り教室	親子	蒲地 瑞枝 先生
龍田	すこやか食生活改善講習会	親	檜室 洋子 先生(榆木地区食生活改善推進委員)
龍田	骨盤矯正体操	親	後藤 美穂 先生
清水	子育ての体験談をもとに母としての思いを講演	親	岸 信子 先生
清水	自分の特性を意識した(利き脳)整理収納方法を学習	親	詫摩 美由紀 先生
清水	肌、髪、瞳などと調和して魅力を生かす「色」を学習	親	入江 真季 先生
清水	太極柔力球：短いラケット、砂球を使った体操	親	大森 せつみ 先生
清水	フジバンビ(黒糖ドーナッツ)でお菓子作りを見学	親	(株)フジバンビ 担当者の方
清水	おうちで作れる簡単なおやつ作りを実習	親	永盛 靖子 先生
清水	親子でトランポリンを体験	親子	上杉 里香 先生
清水	山鹿の歴史、文化財の見学・学習	親	山鹿「旅先案内人の会」の方
清水	骨盤体操を体験	親	後藤 美穂 先生
清水	ネックウォーマー、バネロPOCHの手作り実習	親	柳瀬 枝里子 先生
清水	「うまみ」に関する学習とお出汁の取り方等	親	林 豊子 先生
清水	「ゆかた」の着付け方	親	田中 百合花 先生
清水	更年期についての講話とストレッチを体験	親	坂口 京子 先生
清水	栄養士による学校給食についての講義と給食試食会	親	服部 礼子 先生
清水	地域のスポーツクラブとバトミントンでの交流	親子	城北スポーツクラブの方
清水	教育についての座談会(清水小)	親	校長先生
清水	「みそ作り」の体験	親	塩津 弘美 先生
清水	新聞の読み方やスクラップ帳の作り方を学習	親子	馬場 文香 先生
清水	お出汁の取り方の学習と実習	親	林 豊子 先生
清水	食べ物の大切さを牧場体験で学習	親子	大藪 真裕美 先生
清水	簡単アイデア料理の実習	親	藤木 永美子 先生
北部	ワンポイント刺繍講座	親	竹下 紀子 先生 (手作りパンと焼き菓子&手作り雑貨工房めりめろ)
北部	今の子どもたちの思春期について	親	清水 美夏子 先生
北部	ゲームで学ぶお金の役割	親	佐藤 名美 先生(ファイナンシャルコーチ)
北部	ポップオーバークッキング	親	日高 佳子 先生(料理研究家)
北部	くまもと親の学びプログラム	親	北部公民館 社会教育主事
北部	親子ふれあい活動(竹はし作り、そうめん流し、スイカ割り)	親子	西里分館 社会教育指導員
北部	熊本地方裁判所見学	親	熊本地方裁判所職員の方
北部	自分へのごほうび！整理がもたらす心の輝き	親	北野 宏美 先生(収納アドバイザー)
北部	合同研修会「母親が伝える童謡・唱歌」	親	中野 眞一郎 先生
北部	すこやか食生活改善講習会(西里小家庭教)	親	横田 栄子 先生(食生活改善推進員)
北部	クリスマスリース作り	親	津田 里美 先生(園芸店lamp)
北部	クリスマスコンサート(フルート&箏)	親	吉永 洋子 先生(フルート)、 小路永 こずえ 先生・和奈 先生(箏)
北部	味噌作り教室	親	塩津 弘美 先生(池田屋醸造)
北部	すこやか食生活改善講習会(北部中家庭教)	親	乾かず子(食生活改善推進員)
北部	フッ化物洗口でむし菌予防	親	北区役所保健子ども課職員の方

くまもと「親の学び」プログラムをマスター ～ あなたの力が子どもを変える～

対 象： 熊本市内に住むか通勤・通学し、学校や公民館で行う家庭教育セミナー等の
進行役（ファシリテーター）として活動する意欲のある方

期 間： 9月30日～12月2日
毎週水曜日（全 10 回）

時 間： 19:00～21:00

会 場： 熊本市中央公民館

定 員： 30 人（申込多数の場合は抽選）

参加費： 2,000 円（テキスト代等）

※講座修了後、家庭教育地域リーダー登録証を発行します。

*くまもと「親の学び」プログラムは、熊本県が作成した子育てのポイントを
身近な話題から楽しく学ぶためのプログラムです。

申込みは
9月16日(水)
までに！(必着)



- ① 9月30日(水) **開講式 / 「家庭教育の重要性」** (講話)
講師: 杉原哲郎 氏 (熊本市教育委員会 学校教育支援アドバイザー / 前 熊本市教育次長)
- ② 10月7日(水) **「ファシリテーターの基礎知識」** (講話・グループワーク)
講師: 三角幸三 氏 (内閣府地域活性化伝道師 / 教育・まちづくり領域)
- ③ 10月14日(水) **「生きる力・体験の意義」** (講話)
講師: 野中昶 氏 (うえき自然塾 塾長)
- ④ 10月21日(水) **「心のつながり」** (講話)
講師: 本田恵典 氏 (御船町教育長)
- ⑤ 10月28日(水) **「ゲーム・インターネットとのつきあい方」** (講話)
講師: 草原浩志 氏 (熊本県警察 北警察署 生活安全課 少年第一係長)
- ⑥ 11月4日(水) **「ファシリテーション実践Ⅰ・親も一緒に成長」**
(演習&グループワーク)
講師: 細野広美 氏 (臨床心理士)
- ⑦ 11月11日(水) **「地域全体での子育て」** (講話)
講師: 土屋裕子 氏 (熊本市8020健康づくりの会 会長)
- ⑧ 11月18日(水) **「ファシリテーション実践Ⅱ・はじめよう! 早寝早起き朝ごはん」**
(演習&グループワーク)
講師: 柴田治穂 氏 (熊本市立菱形小学校 校長)
- ⑨ 11月25日(水) **「いのちに向き合う」** (講話)
講師: 村上恵理 氏 (開業助産師・食の健康実践家)
- ⑩ 12月2日(水) **「ファシリテーション実践Ⅲ」** (演習&グループワーク) / **閉講式**
講師: 三角幸三 氏 (内閣府地域活性化伝道師 / 教育・まちづくり領域)

※くまもと「親の学び」プログラムを活用し、適宜、ワークショップの実習等を行います。

本講座は、熊本市 と NPO法人「教育支援プロジェクト・マスタース熊本」との協働により実施します。

NPO 法人「教育支援プロジェクト・マスターズ熊本」からのメッセージ

＝本市における家庭教育力の向上に「あなたの力」を！＝

この講座では、学校や地域で一人では対処できないような問題を協働によって解決していくリーダー養成を目指します。リーダーとしての必要なスキル・知識・ノウハウを学んでいただきます。

講座修了後は、本市家庭教育支援事業（家庭教育セミナー等）の進行役（ファシリテーター）をはじめ、様々な場でリーダーとして活躍できるよう実践的な内容を企画しています。

- ・家庭教育セミナー等の進行役として活動する意欲のある方
- ・PTA活動や地域活動に積極的に取り組んでいる方
- ・家庭教育に関する知識・経験をお仕事に活かしたい方
- ・子育てや家庭教育に関する企画や提案を実現したい方

ふるって
ご参加ください！

申込方法

以下の要領で、往復はがきか電子メールでお申し込みください。

往信の表面	返信の裏面	返信の表面	往信の裏面
郵便往復はがき 860 8601 往信 熊本市役所 生涯学習推進課 行	この面には、何も書き込まないでください。	郵便往復はがき □□□□□□ 返信 あなたの住所・氏名を記入してください。	「家庭教育地域リーダー養成講座」 受講希望 ①〒 住所 ②電話番号 ③氏名(ふりがな) ④性別 ⑤年齢



申込先

熊本市役所 生涯学習推進課

〒860-8601（市役所専用のため住所の記載はいりません）

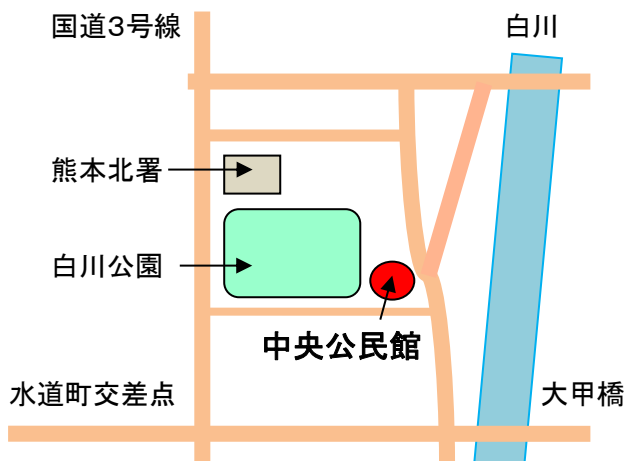
電話：096-328-2736

電子メール：shogaigakushu@city.kumamoto.lg.jp

申込締切

9月16日(水)
必着

会場案内



【公共交通機関案内】

(市電) 水道町電停から徒歩10分
(バス) 水道町バス停から徒歩10分
白川公園バス停から徒歩5分

【自家用車駐車場】

中央公民館の駐車場は30台程度しか駐車できないため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

NPO法人「教育支援プロジェクト・マスターズ熊本」は、「学校や家庭にほんの少しのお手伝いを！」の気持ちから、熊本市北部の小・中学校を中心にそれぞれの地域で支援活動が続けて9年目になります。

小・中学校へは、読み聞かせ、学力充実のための学習支援、クラブ活動への支援、校外学習の補助などの支援活動を行っております。また、保護者や保育者向けには、子育てや保育実践の「トークの会」を開催。また、小学生向けに個別指導での学習教室の運営も行っています。

連絡先 ste00563@hotmail.com 090-3463-2841（沼垣堅基）

重点事業項目（3）

区のまちづくりを活かした公民館事業のあり方

★地域振興及び各区内の連携推進

地域振興の拠点施設としての公民館の周知率向上に向け、各区のまちづくり交流室・公民館の連携、並びに他課・地域諸団体との連携の下、各講座・イベント等を実施し、更なる公民館利用者の開拓を目指す。

- ・ 区ごとの生涯学習イベントの開催 ※他課が推進する
地域イベントとの連携協議
- ・ 区内公民館の共同企画による講座の実施
「学びわくわく講座・講演会」
- ・ 区ごとの特色ある事業や周知方法についての研究

《各区のシンボルマーク》



平成28年2月12日（金）

「区のまちづくりを活かした公民館事業のあり方」について

各区のまちづくりビジョン

- 【中央区】 新たな出会いと未来創造の都会～つながる、中央区。～
 【東区】 自然豊かな 笑顔あふれる 未来のまち 東区
 【西区】 金峰望む 華のあるまち西区
 【南区】 ～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～
 いきいき暮らしのまち南区
 【北区】 ず～っと住みたい “わがまち北区”

平成27年度の各区イベント

《生涯学習フェスタ》

区	日程	会場	イベント名・内容等	備 考
中央	11/8 (日)	五福公民館	中央区ふれあい フェスタ2015	風流街浪漫フェスタ内
東	9/20 (水)	秋津公民館	わくわく生涯学習 フェスタ	子どもチャレンジ公民館予算
西	9/27 (日)	熊本駅周辺	子ども職業体験事 業(ワークキッズ)	西区まちづくり予算
南	10/31 (土)	火の君文化センター (城南公民館)	南区子どもいきいき 学びフェア	・南区まちづくり予算 ・市人権啓発市民協議会予算 ・生涯学習推進課予算
北	12/ 6 (日)	植木文化センター	北区いきいき健康 まつり・わくわく生涯 学習フェスタ2015	北区まちづくり予算

「中央区ふれあいフェスタ」

実施日 11月8日（日）

事業名	中央区ふれあいフェスタ2015											
目的	熊大メイクフレンズとのコラボ企画「ストラックアウト」ブースや公民館事業紹介の展示見学等を通して、あらゆる世代の市民に生涯学習の楽しさを味わっていただくとともに、市民が生涯学習に興味を持ち、学習を始めるきっかけを提供する。											
予算	講師謝礼金（メイクフレンズ）				関係課		なし					
参加者数 (246人)	乳幼児	小	中	15~19	20	30	40	50	60	70	80~	
	99	135	4	0	2	0	0	1	3	2		
内容	・熊大メイクフレンズとのコラボ企画「ストラックアウト」 ・公民館事業に関するパネル、チラシを展示。 ・風流街口マンフェスタ、イベント部門として参加。											
記録 (写真)												
成果	風流街フェスタ2015とタイアップしたことで、たくさんの方々に参加いただくことができた。また他のブースとは競合しない子ども向けのコーナーであったため、五福小の児童をはじめたくさんのお子もたちに参加していただいた。 各公民館の事業の様子を一覧にしたパネルにもたくさんの方々が足をとめてくださり、これからの事業等にもお尋ね等をいただいた。 中央公民館、大江公民館、五福公民館で活動されている熊大メイクフレンズの取組みにも関心を持たれる方が多く、次の企画についてもチラシ等でお知らせすることができた。 今回は、「人が集まる場所」で活動することで公民館事業を広く知っていただくことができた。これからのイベント開催についても、集客の面で分散させることなく効率よく考えた時にすでにあるものをコラボする、協働することがより発展させる上で重要と考える。 たくさんの方々に生涯学習の拠点である公民館を知っていただくことができた点においては、十分な結果を得ることができた。											
課題	・予想を上回る来場者となり、それに見合った場所の確保、用具の準備が必要である。 ・幼児、小学生の年齢層に対応した催しの工夫が必要である。											

「東区生涯学習フェスタ」

実施日 9月20日（日）

事業名	わくわく生涯学習フェスタ											
目 的	公民館講座の体験を通して、あらゆる世代（特に親子を中心とした家族層）の市民を対象に、生涯学習の楽しさを味わってもらうとともに、市民が生涯学習に興味を持ち、学習を始める契機とする。 作ること、描くことが、表現の楽しさや面白さ、人とのつながりのきっかけとなることを体感してもらう。											
予 算	講師謝礼金（鳥や森をつくろう、「おくりもの学校」によるワークショップ、紙芝居、肥後象嵌教室腹話術料理教室）				関係課		なし					
参加者数 (238人)	乳幼児	小	中	15～19	20	30	40	50	60	70	80～	
	33	71	5	9	10	30	24	23	20	10	3	
内 容	鳥を作ろう、森をつくろう（コーダヨーコ） 簡単な手話を楽しく学ぼう（託麻公民館手話講座生） 工作教室「牛乳パックで作るびっくり箱」「折り紙で作るくまモン」（東部サポーターさくら） 大津山先生による工作「紙コプター」と「ぶんぶんコマ」（大津山琢） 「おくりもの学校」によるワークショップ～缶バッジをつくろう（石井克昌） 腹話術「けんちゃん」（中野充伸） ヘルシー！おいしい！お弁当（秋津さくら料理会） ぐれっちの紙芝居（小暮都） 肥後象嵌教室（大住光助）											
記 録 (写真)												
成 果	参加した児童と保護者、みんな笑顔にあふれ、作ることや描くことを身近に感じることができていた。いろいろな分野のエキスパートを呼びこむことで、子どもたちに「ほんもの」に触れてもらうことができた。保護者も一緒に表現の面白さを体験できて、非常に良かった。公民館便りや市政だよりなどを用いて、東区の地域の方々の参加があった。管内の小学校の児童をはじめたくさんのおともたち、そして保護者のみなさんに参加してもらった。来場者には、公民館がどんなところなのかを知ってもらうことができた。数は決して多いとはいえなかったが、質の高い芸術祭となった。 次年度会場は託麻公民館。三館（秋津、東部、託麻）で担当館を交代しながら実施する。											
課 題	実験的な取り組みで内容も充実したものであったが集客は多くは無かった。情報の告知に工夫が必要である。どのように宣伝するかを検討していかなければなるまい。											

「西区学びわくわくフェスタ」

実施日 9月27日（日）

事業名	西区まちづくり事業「子ども職業体験事業（ワークキッズ）」											
目 的	（１）子どもたちが様々な職業などを体験することで、仕事に対しての意識向上と社会への知識を広げることを目的に実施する。 （２）西区にある事業所で職業体験を行うことにより、子どもたちが新たな西区のまちづくり活動に寄与する態度を育てる。											
予 算	業務委託料（シティブイ）				関係課		西区役所内全課					
参加者数 （１１０人）	乳幼児	小	中	15～19	20	30	40	50	60	70	80～	
		50			見学の保護者等のデータはなし							
内 容	9:00～ くまもと森都心参加者受付開始（コース別6ヶ所）											
	9:10～ 開会式 ・永田区長挨拶 ・諸注意											
	9:15～ 1回目の各会場へ移動											
	9:30～ 1回目の職業体験（1時間）～熊本駅周辺（6ヶ所） ① 熊本朝日放送（アナウンサー、カメラマン、ディレクター等） ② ホテルニューオータニ熊本（バーテンダー、ホテル内見学等） ③ くまもと森都心プラザ（観光情報センター業務、接客業務等） ④ 春日人おもてやんボランティア（JR熊本駅での観光案内等） ⑤ JR熊本駅（改札口での接客業務、駅館内放送等） ⑥ 熊本駅前交番（熊本駅周辺のパトロール等）											
	10:30～ 1回目の終了及び2回目の各会場へ移動											
	11:00～ 2回目の職業体験（1時間）～熊本駅周辺（6ヶ所）上記と同じ											
	12:00～ 2回目の終了及びアンケート記入後、事業所ごと解散											
	アンケート結果 (1)ワークキッズを何で知りましたか？ ① 子ども新聞（26人） ②市政だより（19人） ③その他（4人）											
	(2)感想（一部） ・実際に体験できて楽しかった。 ・人前で原稿を読むのはとても緊張した。 ・お仕事はとても大変なんだと思った。 ・普段できない体験ができた。 ・知らないことばかりだったが楽しかった。 ・優しく教えてくださり嬉しかった。 ・カメラマンとディレクターの仕事が分かりやすかった。 ・バーテンダーがおもしろかった。 ・接客が難しかったがカクテルは美味しかった。 ・とてもためになった。											

	・また参加したい。など	
記 録 (写真)	 	 
		
成 果	○今年度は協力事業所で行ったので、参加の子どもたちはより実際の仕事に近い職業体験ができた。子どもたちの職業に対する興味や関心も高まったようだ。 ○熊本駅周辺で行い、参加した子どもたちや保護者が事業所を見学することができたので、西区の施設の魅力を発信できた。 ○対象を4～6年生にしたので、職業体験の内容がより実際に近いものができた。 ○市政だより、子ども新聞等での広報を行い、熊本市内に対象を広げたので、申し込みが多く、広く周知できた。	
課 題	○参加者の定員を増やすためには、協力企業の数を増やし、募集の方法を検討する必要がある。 ○申込みが殺到し、すぐ定員に達した。次回からは抽選方式等違う申し込み方法も検討する必要がある。	

「南区生涯学習フェスタ」

実施日 10月31日（土）

事業名	南区子どもいきいき学びフェア										
目 的	南区の将来を担う子どもたちが、南区の歴史、伝統・文化、自然等、区の魅力・特性を感じ、また、いろんな学習を体験したり、自らの学びを発表したりして、学ぶ楽しさを味わい、学習を始めるきっかけを作っていく。										
予 算	・南区まちづくり予算 ・熊本市人権啓発市民協議会予算 ・生涯学習推進課予算				関係課		南区総務企画課 熊本市人権啓発市民協議会				
参加者数の のべ (約1,000人)	乳幼児	小	中	15~19	20	30	40	50	60	70	80~
				年代のデータはなし							
内 容	★体験講座（10:00～12:00 各講座2時間） （バルーンアート、スポーツ吹矢、古代のコースター・土器作り、おはなし会、米粉で手作りケーキ） ★南区キッズ発表会（11:00～12:00 各団体 10 分程度） （合唱、子ども舞踊、ジュニアダンス、子どもひょっとこ踊り、親子タヒチアンダンス、子ども日舞） ★ハートフル南区キッズ ●コンサート(13:00～14:00) むたゆうじさん ●人権作文表彰発表(14:00～14:30) 南区小・中学校代表児童・生徒 ●演劇(14:30～15:00) てっちゃん劇団 ・開催にあたり、委託業務については南区総務企画課（地域防災フェア）と同時に委託（同時開催）。 ・体験講座については各公民館にて1 講座ずつ担当。南区に関する内容のものも取り入れる。 ・開始間もない頃の集客が少なかったが、時間が経つにつれて増えていった。										
記 録 (写真)											
成 果	・各体験講座は多くの方に参加していただき、盛況のうちに運営することができた。 ・人権作文は、南区の各学校に募集し多くの学校に参加していただけた。作文発表では子どもの思いを伝えられるいい発表になった。 ・南区6公民館で事前の打ち合わせ、調整等、協力して計画・準備に取り組み、実施することができた。 ・同時開催の地域防災フェアでは、南区総務企画課と昨年よりも上手く連携できた。										
課 題	・集客面で参加者を取り合うような感じになるので、どう運営したらいいかが課題である。（運営形態・同時開催について検討が必要）										

「北区学びわくわくフェスタ」

実施日 12月 6日(日)

事業名	北区いきいき健康まつり・わくわく生涯学習フェスタ2015(北区まちづくり推進経費事業)											
目 的	日頃の公民館活動の紹介や実演を通して、北区住民が皆で仲良く学び続けること、生涯学習の楽しさを体験することや体験講座、学習発表を通して人々の交流や郷土教育へのきっかけづくりを目的に実施する。 また、新たな取り組みとして、目的が違う(いきいき健康まつり)事業と合同で開催し相乗効果で公民館への新規来館者を増やすことをねらいとする。											
予 算	イベント委託料(体験講座、ポスター・チラシ等の印刷、スタンプラリーの企画運営など)				関係課		北区保健子ども課					
参加者数 (約700人)	乳幼児	小	中	15~19	20	30	40	50	60	70	80~	
					年代のデータはなし							
内 容	○講演会「テーマ カラダのひきしめかた教えます」 熊本大学 都竹教授 ○北区交流ステージ発表(公募による18団体の発表) ○体験講座(バルーンアート・ものづくり・折り紙・骨盤リットアップ・ヨガ・ダンス・ストレッチ) ○運動体験プログラム(運動バリエーション・運動初心者コース・防災予防コース) ○健康チェック・健康相談・食育体験ゲーム ○小・中学生作品展示 ○公民館紹介コーナー(主催講座・自主講座・家庭教育学級) ○公民館自主講座 作品展示(絵手紙・切り絵・パッチワーク・陶芸) ○健康レシピの試食及び食のブース(Ueki もんリソ・熊本市健康づくりできます店) イベント実施には保健子ども課との共催ということで別々の事業を一体感を持ったものにするため、実施内容や会場の割り振り、予算の使途など何度も協議を行った。また、その都度、協議した内容を社会教育主事会やメール等で報告し4館が情報を共有出来た。公民館では2度館長を交えた会議を行い、第1回目では事業の大まかな内容を決め、第2回目では保健子ども課も交えて最終確認を行った。 当日は多くの来館者が参加された。特にホワイエで行った、健康チェックやものづくり体験・バルーンアートは常に行列ができるほど大盛況であった。文化ホールで行った交流ステージ発表も出演者と会場が一体となった雰囲気で行うことが出来た。また、会場内をくまなく回って頂くためにスタンプラリーを行った。用意した記念品300個も全部なくなり、多くの方にいろいろな展示物見学や体験講座に参加を頂くことが出来た。											
記 録 (写真)												
成 果	今回、北区の保健子ども課と共催で実施することで、違う目的で来館された方に公民館の講座等を知ってもらうよい機会となった。来館者も昨年実施した時よりも増加し、昨年の反省もふまえて、お昼休憩なしで行ったので最後まで流れが途切れることがなかった。また、北区保健子ども課の方からも「昨年より多く参加者がありました」と言われたのでお互いの相乗効果はあったのではないかなと思う。											
課 題	平成27年度、北区では新たに「子どもまつり」というイベントが開催された。多くの方からイベントが多すぎるという指摘もある。次年度以降は「子どもまつり」の企画に関わるか、出来ない場合は違うイベントか公民館予算だけで別の企画を考えたい。											

《生涯学習 わくわく講座・講演会》

区	日程	会場	イベント名・内容等	予 算
中央	5/10 (日)	中央 公民館	お楽しみ 人形劇	公民館予算
＜イベントの概要＞ 幼児、小学生とその保護者を対象にし、童話「うさぎとかめ」をモチーフにした人形劇や伝承劇「とんきちくんとからすやみんなで楽しめる手遊びゲームなど一緒に体験でき楽しい催しを開催した。 (熊本大学サークル青い鳥)				
				
東	6/7 (日)	秋津 公民館	パリからもら った夢～シャ ツ職人吉田 が語るパリの 魅力	教養講演会予算
＜イベントの概要＞ 第1回ふれあい講演会でシャツ職人の吉田義貴氏を招聘した。生地仕入れのために訪れるパリの魅力を紹介してもらうとともに、場所にまつわる曲を演奏してもらった。さらに、シャツ作りの難しさや面白さ、夢に向かって現在どう具体的に取り組んでいるのかを語ってもらった。				
				

西	1/30(土)	西部公民館	わくわく人形劇	公民館予算
＜イベントの概要＞ 乳幼児から大人まで、楽しめる人形劇だった。多くの人が知っている「かさじぞう」を劇団パレットの公演していただき、とても感動する話だった。フリーペーパーで広報されていたこともあり席に座れない方もでるほどの盛況だった。				
				
南	9～11月 全6回	幸田 公民館他	南区学び わくわく講座	区ごとの生涯学習事業費
＜イベントの概要＞ 南区6公民館で各1回ずつ講座を担当し6回シリーズで実施しました。南区に関わりのある内容や講師の方に依頼しバラエティに富んだ内容で実施できた。広報は市政だより「南区です」のページで皆さんに呼びかけた。				
				
北	3/26(土)	植木文化センター	人権啓発映画上映会	市人推協予算
＜イベントの概要＞ 北区の人権啓発をめざした講演会の取組である。今回で3回目になる。今回は、親子をターゲットに「サミーとシェリー～七つの海の大冒険～」というアニメーション映画を上映する。多くの方々に参加してもらえるよう、広報等工夫していく。				

《生涯学習 その他のイベント等》

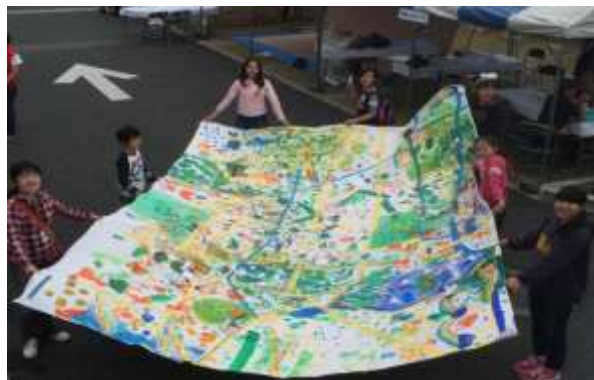
区	日程	会場	イベント名・内容	予算
中央	10/25(日)	五福公民館	秋季文化のつどい	なし
＜イベントの概要＞ 公設公民館相互の交流と、さらには地域とのより密接な交流と和を図ることを目的としている。今年度はステージ部門26団体、展示部門10団体が参加され、生涯学習の実践及び文化の向上を図ることができた。				
				

東	11／23 (月・祝)	東区役所	東区民祭り	東区まちづくり予算
---	----------------	------	-------	-----------

＜イベントの概要＞

東区の笑顔を見つけるマップ作りに取り組んだ。子どもチャレンジ公民館プランナーの子どもたちと美術作家のコーダヨーコさんで東区の大きな地図を作った。

来場者に東区で笑顔になるお気に入りの場所を制作した大きな地図の上に書き込んでもらったり、絵を描いてもらったり、シールをはったりしてもらうことで、完成させた。来場者が参加できる楽しいワークショップとなった。



北	8/1・2 (土)・(日) 11/14 (土)	金峰山少年自然の家 植木文化センター (北区子ども祭りで発表)	北区中学生 交流事業	北区まちづくり予算
＜イベントの概要＞ 北区内にある5つ中学校から17人の中学生(1～3年生)が集まり、自分たちのふるさと北のまちづくりについて、ワークショップ等を通して、しっかり意見交換をしていた。 まとめとして、「こんな北区にするぞ宣言！」をつくり、北区子ども祭りで発表した。				
				
				

☆取組全体の総括☆

＜成 果＞

- ・ 区の各課や地域の諸団体等と事前にしっかり話をしながら、連携した公民館事業の取組ができてきた。
- ・ どのイベントもある程度の参加人数を集めることができた。

＜課 題＞

- ・ 参加年齢にあわせたイベントや講座内容の工夫。
- ・ 参加人数に見合う、施設や駐車場等の確保。
- ・ 各区のイベントや公民館事業に一度も参加していない人への広報の仕方やいろいろな世代が参加できるような広報等、取組の工夫。

＜今後の方向性＞

- ・ 各区で行われているイベントを統合したり、精選したりして、より広く、いろいろな世代の人たちが集えるような企画を考えていく。

2 平成28年度事業計画概要（案）について

（1）平成28年度重点事業項目

市民に利用しやすい公民館運営を行うとともに、公民館情報を積極的に発信し、公民館の利用促進並びに生涯学習の推進に努める。

「生涯学習指針」に掲げる成果指標「過去1年間に生涯学習を行った市民の割合」の目標値（平成30年度 50％）に近づくように努める。

① アクションプランの充実（平成26年度より継続）

○ 新規利用者増を目的として各公民館で取り組んだアクションプランの実施状況を踏まえ、課題解決と改善に向けた取り組みを志向する。

ア 現代的課題と市民ニーズを融合させた、男性や子育て世代を対象とした講座の実施

イ 「よかった講座」報告集を活用した、特色ある新たな講座の開設

ウ 公民館間のネットワークや地域からの情報を活かしての新規講座講師の発掘

② 家庭教育支援の充実（平成26年度より継続）

○ 家庭教育学級の充実

ア 家庭教育学級の内容充実

イ 家庭教育学級増に向けた小中学校との連携促進

ウ グループワークを取り入れた参加体験型講座の実施

○ 地域人材・家庭教育支援者の活用

ア 民生委員等との連携

イ 家庭教育地域リーダー養成講座修了生の活用

○ 学校・地域諸団体等との連携・協力

ア 学校・地域諸団体との連携推進

イ 保護者への情報発信・啓発活動

③ 生涯学習に関する市民ニーズの把握

○ 生涯学習に関する市民アンケートの実施

ア 学校・地域諸団体への協力依頼

(2) 平成28年度事業項目

① 主催事業

○主催講座・講演会

ア 主催講座

乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代を対象として、現代的課題解決のための講座、市民のニーズに応える講座、社会の要請に応える講座、地域の要請に応える講座等を実施する。市民企画講座、公民館子ども活動支援事業（子ども講座、子どもチャレンジ公民館等）、子育てサロン事業も引き続き実施する。

イ 教養講演会

市民の教養や健康的な暮らしへの関心を高めるとともに、生涯学習に対する意欲を喚起する。現代的課題等のテーマについて取り上げ、市民に対して広く啓発活動を行う。

○地域との連携事業

公民館は地域社会の核として魅力あるまちづくりに取り組む上で重要な役割を果たすものであり、そのために地域のあらゆる施設や団体との十分な連携を図り、生涯学習の推進を通して地域のまちづくりに寄与することを目的とする。

ア 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援・育成

（例：ボランティア養成講座の開催やボランティア登録、自主講座の活用）

イ 各種団体やNPO、企業、各種学校、ボランティア等との連携

ウ おでかけ公民館講座の充実（学びを生かすボランティア活動）

○家庭教育学級

保護者等の家庭教育に関する学習の機会を拡充し、子どもの健全育成に役立てるため、年間を通じて自主的に学習活動を行う家庭教育学級を開設する。

*この学級は、保護者等が気軽に集まり、自主的に交流となかまづくりが行えるよう

小・中学校及び幼稚園・保育園を単位として開設する。

○市民のつどいや生涯学習フェスタ

生涯学習の推進とまちづくりの振興を促していくために、各公民館または、区ごとに地域の学習成果を発表する場を設ける。

○情報提供と学習相談

各館のホームページや生涯学習情報システム「わくわく学習情報くまもと」を利用した講座情報の提供を行う。また、主催講座の電子申請受付など、市民の利便性の向上を図る。その他、窓口や電話での学習相談等にも応じる。

② 自主講座の開設

高齢者、成人、青年及び子どもや親子を対象に、初心者向けの学習内容で、かつ講座生の自主運営を基本として開設する。

③ 図書室の運営

市民への図書サービスとして、貸出、予約、リクエスト、閲覧、図書案内等を行う。

④ 児童館・児童室の運営

遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的として、おおむね小学校終了までの児童を対象とする。

*なお、未就学児については保護者同伴とする。

⑤ 各種学習団体・サークルへの貸館

自主的な学習活動を行っている各種学習団体やサークル等へ、公民館条例に則り、研修室等を貸し出す。電子予約システムの周知に努め、利用者の利便性の向上を図る。